議題

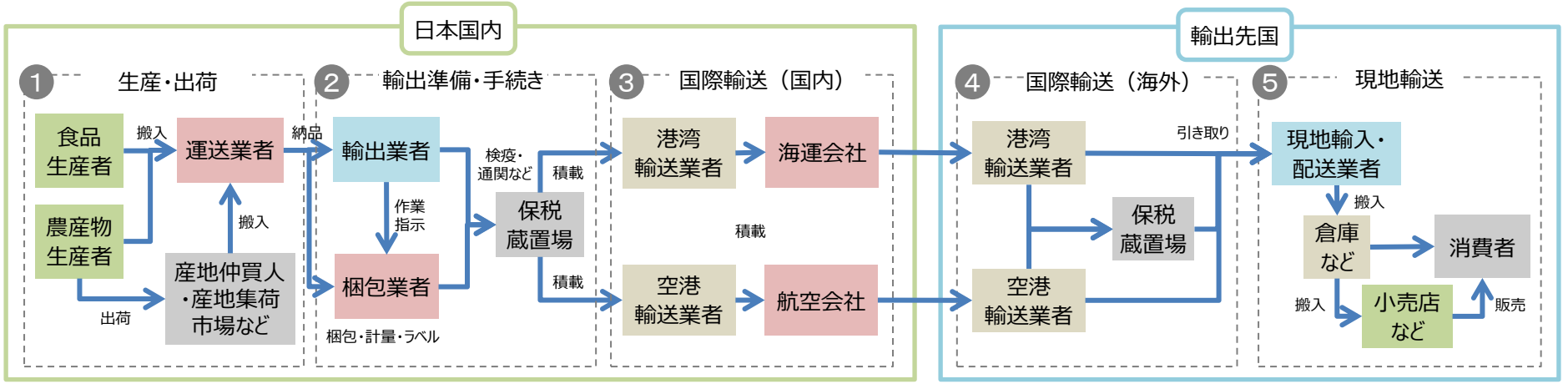
- 背景と目的、スケジュール
- 調査結果サマリー
- **物流・商流調査実施報告**
  - 1. 調査対象選定
  - 2. 流通構造調査
  - **3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理**
  - 4. 聞き取り調査
  - 5. 取りまとめ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

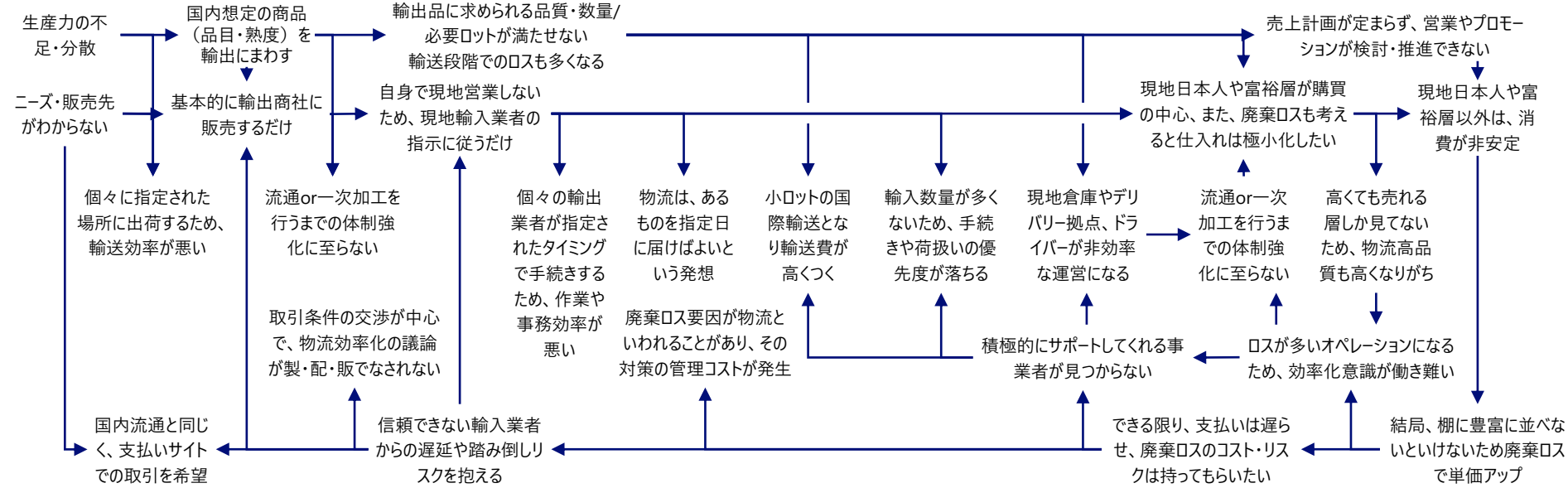
本事業を通じて加筆・修正を行った食品輸出のサプライチェーンにおける課題の全体像は以下の通り

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある

輸出業務の全体像



ビジネス面での課題

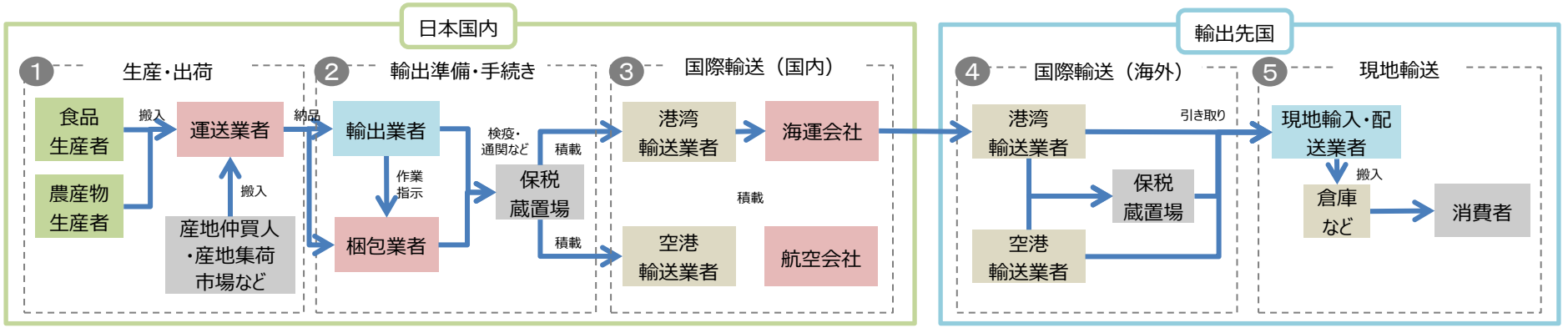


Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

海外輸出団体等は、商流や物流、また金流など幅広い分野において、体制や仕組みの整備を進めている

輸出業務の全体像



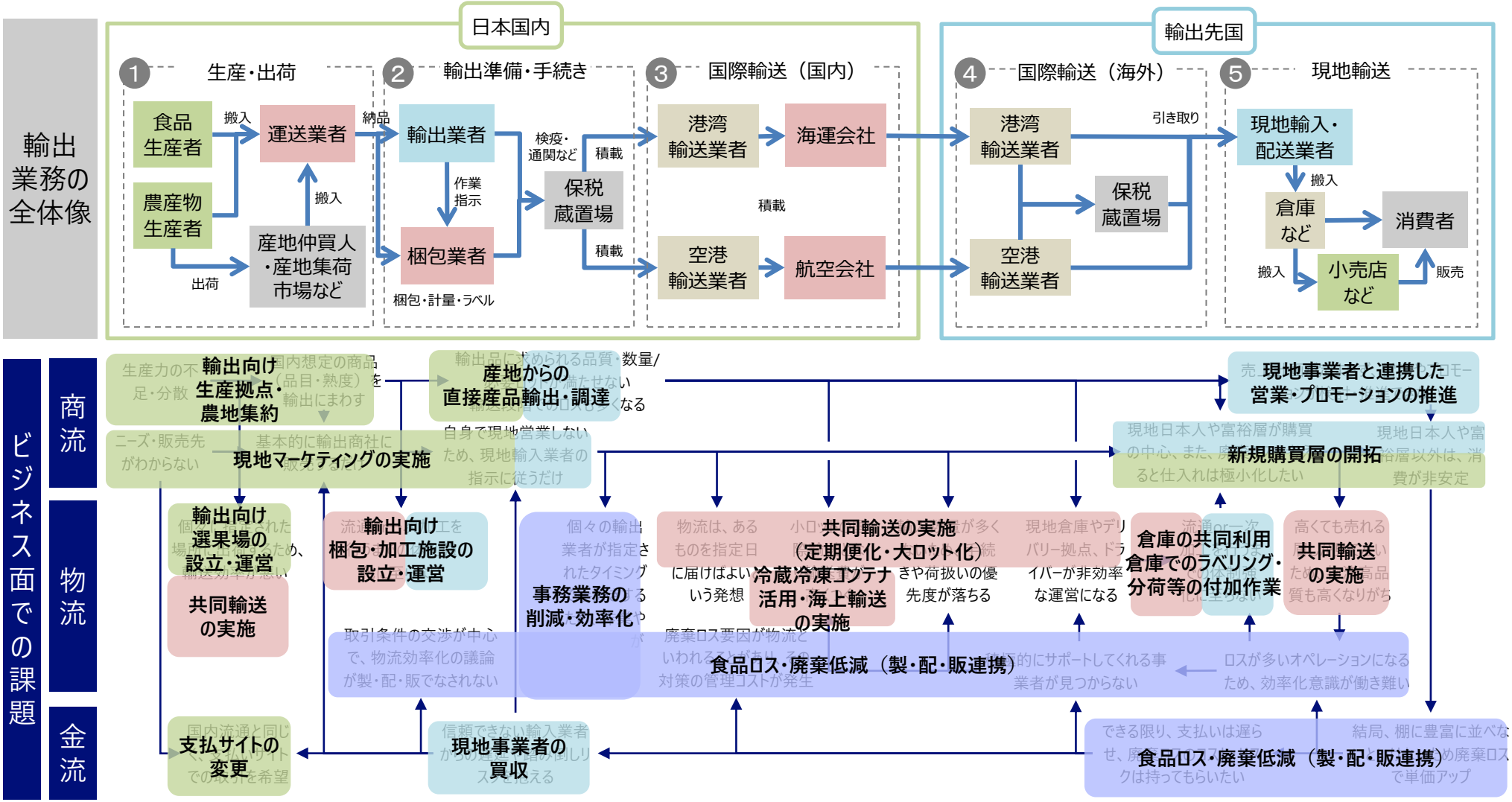
生産	戦略商材生産拡大	不足産品の第三国・現地生産体制整備
	生産性向上（設備・IT）	一次加工体制整備
商流	自国産品の品質保証	現地流通・物流における連携先ネットワークの整備
	輸入規制・関税等の交渉	デジタルでのプロモーション
	産品トレース・サプライチェーンプラットフォーム（ブロックチェーン活用等）	
物流	物流資材の共通化	電子通関・相互電子認証
	共同物流の推進	輸出先現地での共同物流インフラの整備
	自国基準（添加物・残留農薬）での農産品・食品の輸出入に向けた交渉	
金流	輸出保証金融等の事業者のリスク低減	
情報流	生産者・輸出業者等が連携した輸出チーム組成	現地市場情報等収集と戦略・施策活用
	品目別輸出促進団体の強化	
	マーケットや商流・物流に関する情報データベース	

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

課題に対して、事業者レベルで講じることが考えられる打ち手は以下の通り

サプライチェーン改善に向けた取り組み（事業者レベル）

現地マーケティングの実施



出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」

※紫色の領域は、サプライチェーン関係者全般に関係する取組

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

イチゴラスは農場を複数持ち、輸出国に合わせて出荷元を選ぶことで産地直送を実現。品質に加えて外見でも差別化を図り、顧客獲得を目指す

イチゴラスの取組事例

事業者	株式会社イチゴラス
品目	いちご
輸出先	シンガポール、香港、アメリカなど7か国
取組	• メインの農場を熊本に保有するのに加え、淡路市、伊勢市に農場を持ち、関西国際空港から朝どれいちごが翌日朝までに届くように航空便で送る • 現在は他製品と混載するが、コンテナをいっぱいにできるよう大規模農場に拡大することを検討 • イチゴラスは、イチゴを花束に見立てたり、パティシエとコラボレーションするなどして、認知度の向上に努める。品質の良さと見た目の良さが高評価に繋がっている

出所）マイナビ農業、朝日新聞デジタル

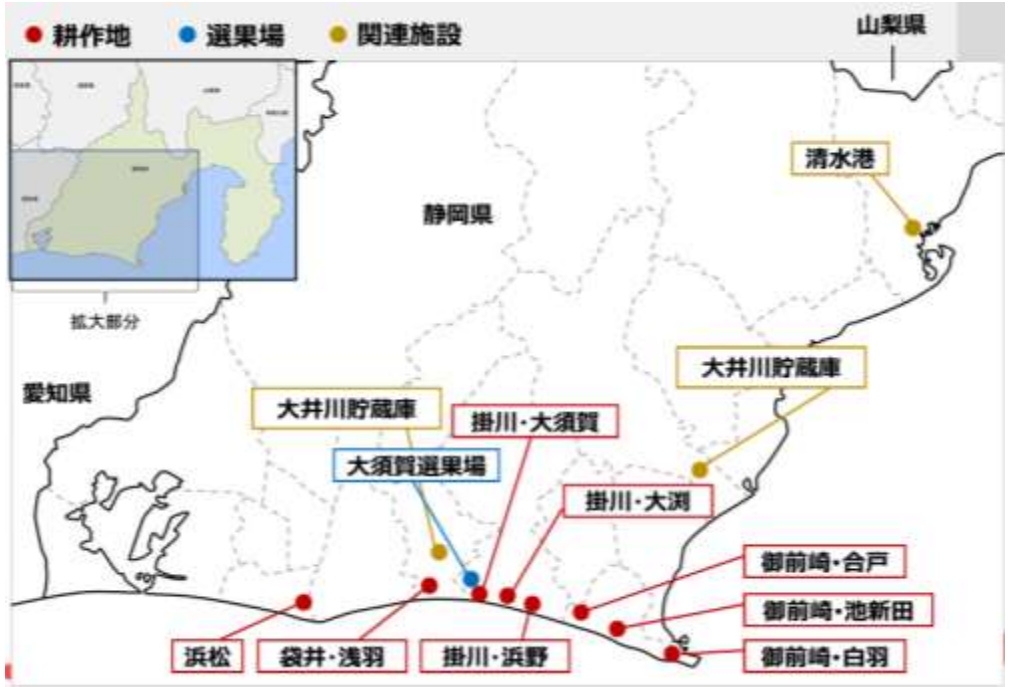
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

（株）日本農業は静岡県にて、自社で選果梱包施設を設立し、自社ほ場で栽培された作物に加え、契約農家から買い取った作物の選果・梱包作業も受託している

日本農業によるカンショ輸出の取組

事業者	（株）日本農業
品目	かんしょ
輸出先	タイ
取り組み	• 静岡県内で**荒廃農地を中心にかんしょの作付け・選果梱包を主導し輸出拠点として清水港を活用** • かんしょは、ジャパンベジタブル㈱および契約農家が生産したものである • 輸送環境、等級等の条件が異なるカンショを計4コンテナ輸出し、現地で着荷状態の確認と販売可能な個体は試験販売を実施



生産（仕入れ）

選果梱包

販売（輸出）

出所）日本農業資料

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

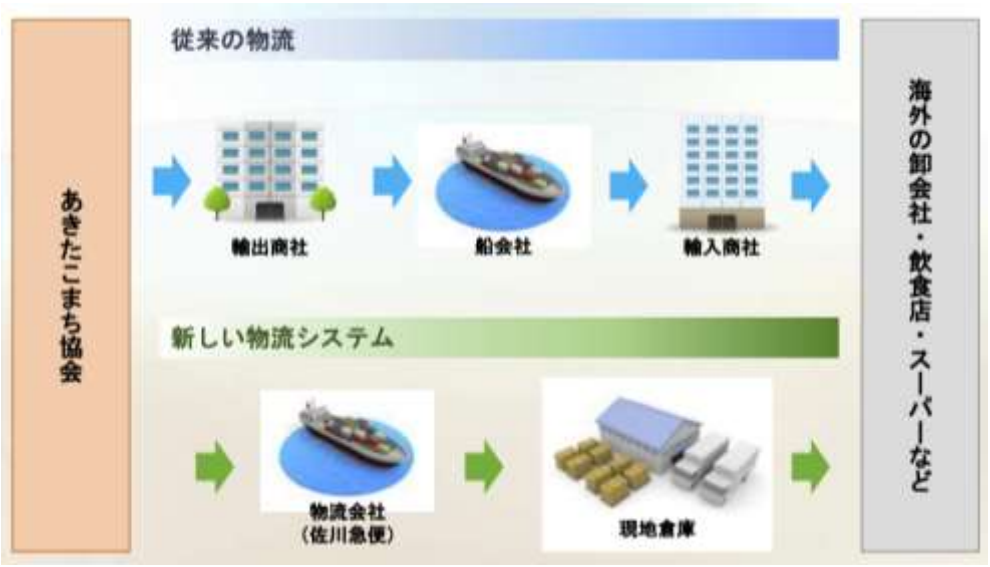
Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

あきたこまち農協は、物流業者と連携することで、輸出・輸入商社を挟まない輸出を実現している

（株）大潟村あきたこまち生産者協会の海外産直プロジェクト

輸出先	欧米
品目	米、加工品（パックご飯、米パスタ、米パンケーキミックス、甘酒等）
協力先	佐川急便
取り組み	• 2016年4月、大潟村役場内に事務局を設置 • 村主導で複数事業者の製品をとりまとめ、**多種製品を一緒に送る共同輸送により製品あたり物流費を低減** • **佐川急便と連携した商社などを通さない直送網によるコストダウンを図っている** • その他実施事項 　• 国内外の食品展示会への出展 　• 輸出関連事業に関わる情報の提供・共有 　• 新商品の開発支援

産直輸送の流れ



共同輸送を行っている複数事業者製品例

出所）大潟村あきたこまち生産者協会資料

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

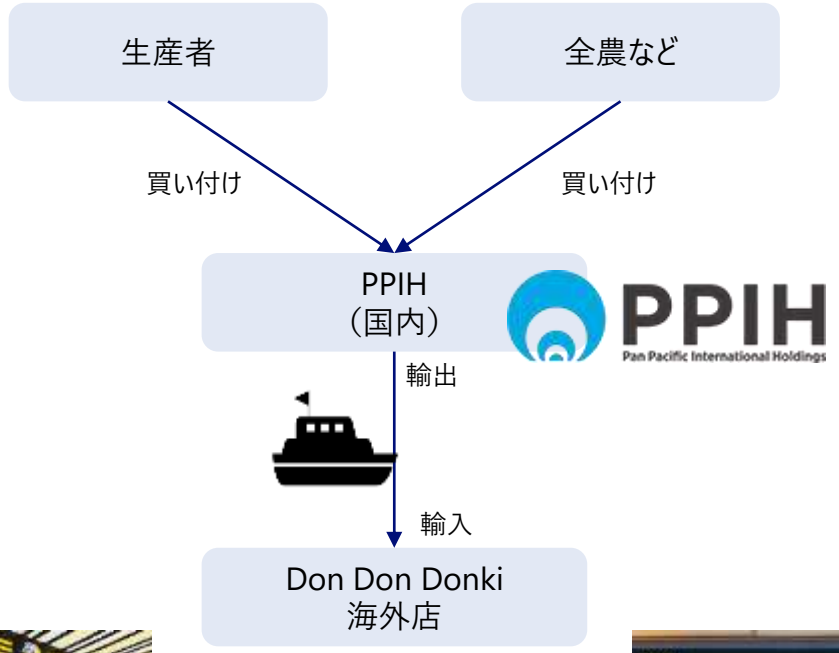
事務業務の削減・効率化　共同輸送の実施　冷蔵冷凍コンテナ活用・海上輸送の実施

海外にDon Don Donkiを展開するPPIHは、日本で生産者から買い付けた農産物を自社で海上輸送により輸出入する構造により、輸出関連費用の低減及び効率化を図る

PPIHによる農産物輸出の取組

事業者	Pan Pacific International Holdings
品目	いちごを含む生鮮食品、水産物など
取組	• 鮮度維持のために航空便を使うことの多い青果物も**CAコンテナを使用するなどの方法により安く鮮度を維持しながら海上輸送** • 日本側からの輸出と海外店舗側の輸入の両方を一社で完結することにより、輸出入に係る事務手続きを効率化

イメージ図



出所）パンパシフィックインターナショナルホールディングスホームページ、ダイヤモンドオンライン

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

PPIHは、より一層の輸出品の拡大と安定確保を図るため、会員組織（PPIC）を設立し、自治体や生産者との連携を強化している

PPICの取組

事業者	Pan Pacific International Holdings
品目	いちごを含む生鮮食品、水産物など
期間	2020年9月（初の自治体連携）～
取り組み	• 十分な海外輸出量の確保、品質の安定化を図るため、**生産者、輸出に携わる事業者、関係団体とPPIHグループのパートナーシップ組織Pan Pacific International Clubを立ち上げ** • 愛媛県、鹿児島県、熊本県、和歌山県、沖縄県、札幌市、香川県の連携協定を締結 • 生産者取りまとめ団体の協力で農産物のリレー体制を構築し、長期にわたる供給を実現 • PPIHとPPICの連携により流通網を整備、改善する予定

ステークホルダー

自治体	県産の農産物、海産物、畜産物の輸出支援
全農	生産者リレーを構築し、長期間の販売期間と安定数量を確保
PPIC 生産者（プロダクト会員）	日本産品の確保、売価の安定、各国レギュレーションに合わせた商品供給
PPIC 流通業者（ディストリビュート会員）	最適な物流網の構築

出所）パンパシフィックインターナショナルホールディングス資料、Pan Pacific International Clubホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

現地事業者と連携した
営業・プロモーションの推進

5人の農家によって立ち上げられた生産者グループ「奈良いちごラボ」は、超高級路線の商品を開発し、高級ブランドとのコラボレーションやホテル・スーパー等への販売を実現している

生産者グループ「奈良いちごラボ」の取組事例

	国内（３割）	輸出（７割）			
出荷先	日本	中華圏 台湾、香港	米国 ラスベガス、LA、マイアミ	ASEAN タイ、ベトナム、 シンガポール	南米、中東
価格	￥4,000~8,000/パック ￥10万円/箱（卸値）	-	$90/パック （約12,000円）	販路拡大中	進出予定
取り組み	• 2016年に、桜井市、五條市、葛城市などに農場を持つ５人の生産者が「奈良いちごラボ」を立ち上げた • 三色のいちごをセットにして商品化することを強みとしている • いちごの種類：赤色の「古都華」に加え、ピンク色の「淡雪」、白色の「真珠姫」「パールホワイト • コンセプト「宝石を手にしたような、ひとときを味わう楽しみ」	• 海外出荷先として最も多い • 関西国際空港からの空輸により、朝摘みイチゴが翌日午前には現地の百貨店などに並ぶ • 香港では世界的な高級ブランドの「ルイ・ヴィトン」と提携し、同店の来店者に試食してもらうイベントも行った	• ホテル、高級スーパー向け • 米国は品質や鮮度への要求がアジアよりも厳しく、半日を超える長時間輸送でも損傷しないよう、梱包材を１粒ずつにエアクッションがあるタイプに変更		

３色のイチゴが詰まった宝石箱のようにそのまま食卓に置ける「特別感」を訴求

出所）アジア経済ニュース、奈良いちごラボホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

宝酒造インターナショナルは、米国子会社を通じ2023年10月に日本食材卸企業を買収
米国における拠点を11州13拠点に増やし、事業拡大を進めている

企業概要と直近の買収概要

企業概要	• 事業内容：グループ会社管理、酒類・調味料の輸出販売等 • 大株主及び持株比率：宝ホールディングス株式会社 １００％ • 事業展開国（関係会社立地国）：中国・香港・アメリカ・カナダ・イギリス・フランス・ポルトガル・スペイン・オーストラリア
買収概要	• 買収元：Mutual Trading Co., Inc.（宝酒造インターナショナルの米国子会社） • 買収先：Minamoto Wholesale Limited, LLC（アメリカテキサス州オースティン市で事業展開する日本食材卸） • 買収額：非公表

米国子会社の拠点立地州

- Los Angeles
- San Diego
- Las Vegas
- Arizona
- Texas (Dallas, Austin)
- Hawaii
- New York
- New England
- Washington DC
- Chicago
- Atlanta
- Miami

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

食品ロス・廃棄低減（製・配・販連携）

冷凍コンテナ活用・海上輸送の実施

（株）アライドコーポレーションは、仕入れから輸出・品質管理・販促まで（中間業者を挟まず）自社一気通貫で行うことにより適正価格での商品供給を実現

アライドコーポレーションの自社一気通貫モデル

事業者	（株）アライドコーポレーション
会社概要	• タイ食材を中心に扱う食品商社・メーカーのアイランドコーポレーションは、タイ食材を輸入し日本の小売店頭で販売する傍ら、バンコク支店を窓口として、タイにて日本食品を販売 • シンガポールや香港への輸出も開始
品目	いちご、ぶどう、梨、みかん、かんしょ等
輸出先	タイ

取り組み	• **輸出向けの産地開発（開拓）から、最適コストの物流の構築、現地店頭到着までの品質管理、現地での販売促進まで、一気通貫で対応**している 　• 物流：いちごやトマト、ナスなどを除き、海外への輸送には主に日本郵船グループのCAコンテナを利用。鮮度を保ちつつ、**輸送コストを空輸の約10分の1（フルコンテナでの試算）に圧縮**することが可能。 　• 現地での品質管理：着荷状態の確認や品質管理が行き届いていないことによるロス（廃棄）を防ぐべく、バンコク支店が着荷状況を確認。検品してレポートにまとめ、問題があれば出荷時の改善策を日本に報告。さらに保管は最新設備の冷蔵倉庫で行い、店舗への出荷時には再検品。コールドチェーンが確立しており、日本輸出時から店頭に並ぶまで暑い外気に触れない

出所）アライドコーポレーションホームページ

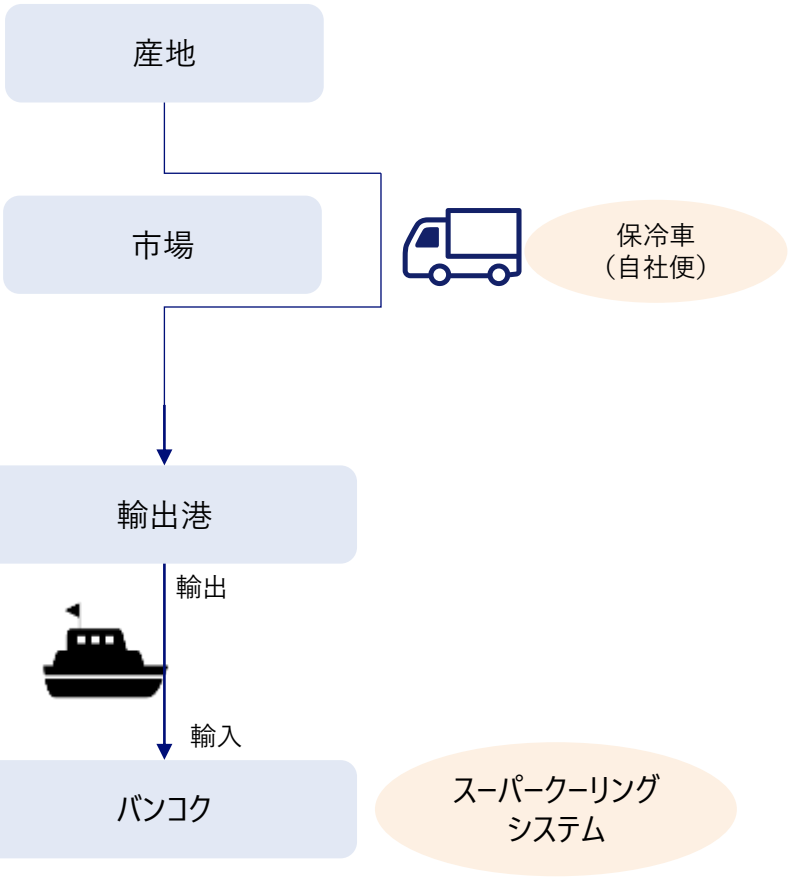
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

物流面では、輸出青果物の鮮度維持のため、産地から輸出港まで自社保冷車にて輸送
また、現地倉庫にスーパークーリングシステムを導入

アライドコーポレーションの物流面における廃棄低減施策

事業者	（株）アライドコーポレーション
品目	青果物
輸出先	タイ
取り組み	• 日本産と言えども、品質面で他の外国産や同じ日本産の商品との差別化を図るために、「ジャパンブランド」に**プラスアルファの高付加価値化として、鮮度維持を目指している** • 青果物の中でも傷みやすいものは、**市場を通さず自社便（保冷車）で産地から輸出港まで輸送**している • さらに**CAコンテナでの海上輸送に加え、バンコクの冷蔵倉庫にスーパークーリングシステムを導入することで、現地の販売店までの品質を維持した流通網を構築**している



出所）アライドコーポレーションホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

販促の面では、タイにおいて現地法人「Bangkok Food System Co.,Ltd」を設立し、現地での販売・プロモーション強化・販路の拡大を行っている

アライドコーポレーションの現地販促の取組

事業者	アライドコーポレーション
品目	りんご、いちご、ぶどう、梨、かんしょ等
輸出先	タイ
取り組み	• タイ料理食品の輸入を手掛けていた知見を活かし、タイの現地スーパーや自社店舗で販売している • また、バンコクに現地法人「Bangkok Food System Co.,Ltd」を設立し、社員が現地スーパーや店舗で試食販売を行っている • さらに、タイの一般消費者向け日本食品ECサイト「JAPAN OISHI TANOSHINET」を開設して消費者への直接販売も開始している

ECサイト「JAPAN OISHI TANOSHINET」ホームページ

出所）アライドコーポレーションホームページ、JAPAN OISHI TNOSHI NETウェブサイト

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

PAXS DISTRIBUTORSは、アメリカ西海岸において輸入業者が保管・輸送といったロジスティクスサービスに加え、加工食品を製造・販売している

PAXS DISTRIBUTORSの提供サービス

食品加工サービス

セントラルキッチンにおいて、寿司やおにぎり等の加工食品（惣菜）を製造

物流サービス

物流センター

保管サービス

輸送サービス

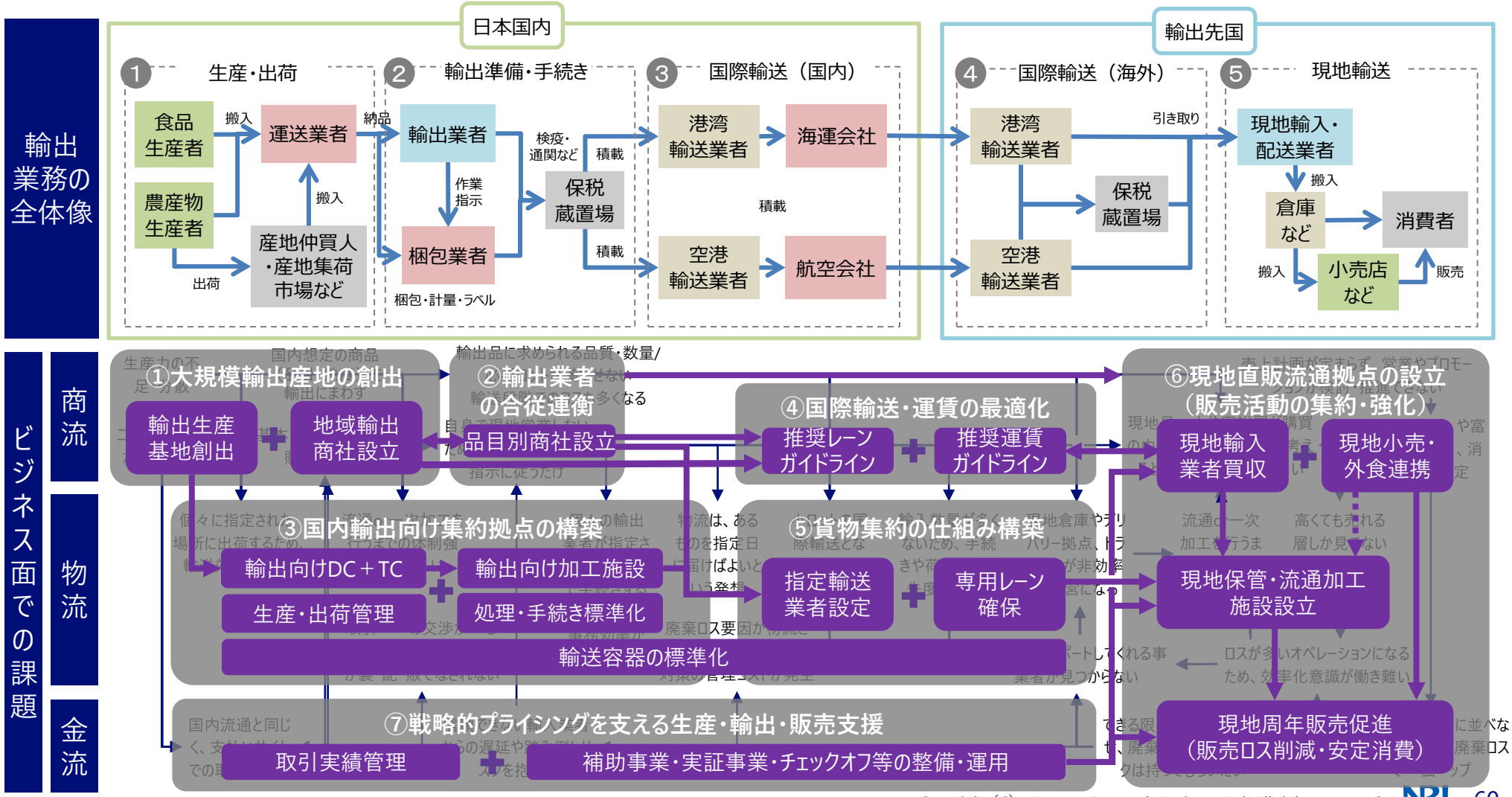
国際輸入サービス

出所）PAXS DISTRIBUTORSホームページ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

課題に対応し、想定される打ち手についても①～⑦の大方針及び具体打ち手を整理

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理

打ち手ごとの費用・効果項目についても整理を実施

大項目	中項目	調査項目	
		費用関連	効果関連
①大規模輸出産地の創出	輸出生産基地創出	• 生産基地用地費用（協力者確保含む） • 生産関連設備（農機・資材等）の購入・維持管理費 • 生産人件費 • 基地運営人材の確保費用	• 大規模生産の実現（生産数量拡大） • 生産の効率化 • 数量・価格競争力の向上
	地域輸出商社設立	• オフィス費用 • 営業、事務手続き人件費 • 産地からの産品調達コスト • 事業推進人材の確保費用	• 顧客ニーズ・サプライチェーンの明確化 • 交渉力（セリングパワー）の強化 • 顧客ニーズに基づいた生産の実施 • サプライチェーン・実輸送の合理化（効率化）・コスト削減
②輸出業者の合従連衡	品目別商社設立		
③国内輸出向け集約拠点の構築	輸出向けDC＋TC	• 施設用地の確保、施設建設コスト • 関連設備（倉庫・パッキングライン等）の導入・維持管理費 • 荷役、人件費 • 施設運営人材の確保費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減
	輸出向け加工施設		• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上
	生産・出荷管理	• 梱包資材費 • 荷役、人件費 • 輸送、保管費用 • 生産・出荷管理システム（プラットフォーム）の導入・維持管理 • 管理組織・人材の確保費用	• サプライチェーンの可視化 • サプライチェーン・実輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上 • 梱包資材費削減
④貨物集約の仕組み構築	処理・手続き標準化	• 事務手続きコスト • 輸送容器費用 • 標準化に向けた協議・調整、普及のための広報費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸送容器費削減
	輸送容器の標準化		
	指定輸送業者設定	• 輸送手配コスト • 事務手続きコスト • 物流費 • 保険費 • ガイドライン策定に向けた協議・調整、普及のための広報費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸送費削減
	専用レーン確保		
⑤国際輸送・運賃の最適化	推奨レーンガイドライン		
	推奨運賃ガイドライン		
⑥現地直販流通拠点の設立（販売活動の集約・強化）	現地輸入業者買収	• 事務手続きコスト • 物流費 • 買収活動費（戦略策定、ロング・ショートリスト作成、買収交渉、買収費、PMI）	• サプライチェーンの合理化（効率化） • プロモーション費削減 • 流通額・量の増加
	現地小売・外食連携	• 棚台、プロモーション費用 • 店舗管理費 • 人件費 • マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 需要・流通ロットの拡大 • プロモーション費削減
	現地保管・流通加工施設設立	• 施設用地費用 • 関連設備（倉庫・パッキングライン等）の導入・維持管理費 • 流通加工費、人件費 • 施設運営人材の確保	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上
	現地周年販売促進（販売ロス削減・安定消費）	• マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 需要・流通ロットの拡大
⑦戦略的プライシングを支える生産・輸出・販売支援	取引実績管理	• 取引実績管理システム（プラットフォーム）の導入・維持管理 • 管理組織・人材の確保 • マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 取引実績の可視化 • マーケティングの高度化、流通額・量の増加 • 取引リスクの低減
	補助事業・実証事業・チェックオフ等の整備・運用	• 事業・制度構築検討費 • 事業・制度運用組織の設立・運用（事務手続き等）費用 • 運営人材の確保費用	• 流通額・量の増加

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- 背景と目的、スケジュール
- 調査結果サマリー
- **物流・商流調査実施報告**
  - 1. 調査対象選定
  - 2. 流通構造調査
  - 3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理
  - **4. 聞き取り調査**
  - 5. 取りまとめ

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

以下の事業者への聞き取り調査を実施

#	属性・事業者	対象国	対象品目
1	輸出入業者A社	シンガポール（・タイ）	ぶどう・かんきつ・もも（・カンショ）
		アメリカ	いちご
2	輸出入業者B社	シンガポール・アメリカ	パックご飯
3	小売業者C社	シンガポール	ぶどう・かんきつ・もも・パックご飯
4	小売業者D社	アメリカ	いちご・パックご飯

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

聞き取り調査においては、目的説明の後、事業概要・課題感等について情報共有頂き、その中でコスト関連の本質的な情報・また打ち手についての意見の収集を実施

■ 詳細な調査項目については、対象業種によって取捨選択を実施

想定聞き取り調査項目（案）

1. 現状の事業（商流・物流）について
    1. 取り扱い品目、取り扱い量
    2. 入荷・出荷（受取・輸送）先、輸送モード
    3. 今後拡大していきたい品目・輸出先
    4. サプライチェーン仮説に対するコメント　等

2. 現状のサプライチェーンの詳細
    1. 具体的な調達先・調達時期・頻度
    2. 自社施設への輸送方法・保管方法
    3. 輸出で利用している空港・港湾
    4. 利用しているフォワダー・物流会社
    5. 輸出先で利用している空港・港湾
    6. 輸出先で利用してる物流会社、倉庫
    7. 具体的な販売先・発注時期・頻度
    8. 輸出拡大に向けて取り組んでいる事項
    9. サプライチェーンの効率化での取り組んでいる事項　等

3. 現状の事業（商流・物流）における課題感について
    1. 課題仮説（商流・物流・金流）に対するコメント
    2. 課題解決に向けて取り組んでいる事項　等

4. 現状のサプライチェーンにおけるコストについて
    1. 大まかなコスト構造（金額・割合）
    2. 個別費目に関する金額イメージ
        1. 事務費用
        2. ラベル、作業工賃
        3. 国内物流費、保管費
        4. 国際輸送費、保険費
        5. 関税、検品ロス
        6. 現地物流費、保管費
        7. 売価、利益率　など
    3. 過去の各種費用のトレンド
    4. 将来的な見通し　等

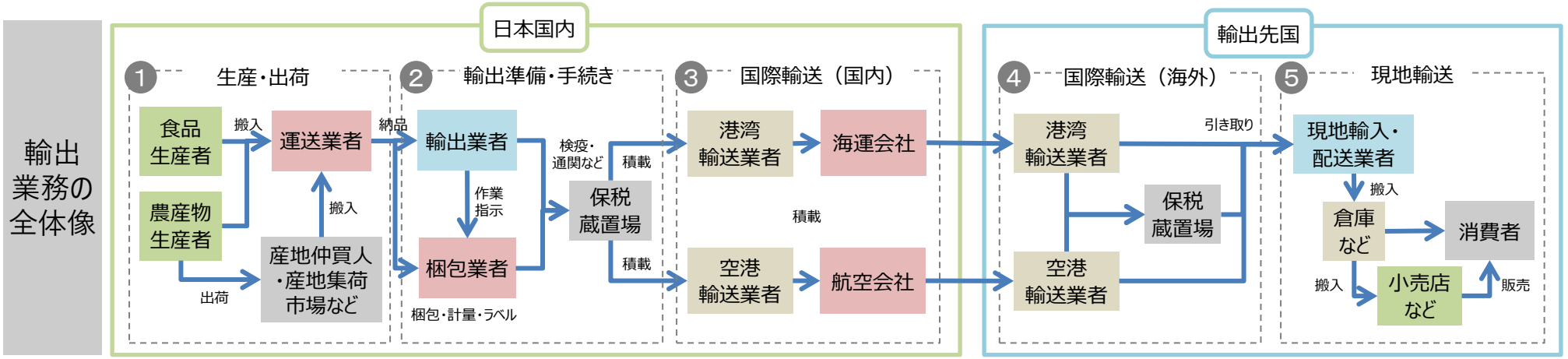
5. 将来的な青果物・食品の輸出拡大に向けた打ち手について
    1. 打ち手・費用・効果仮説に対するコメント
    2. 事業者として特に国に期待する事項・施策

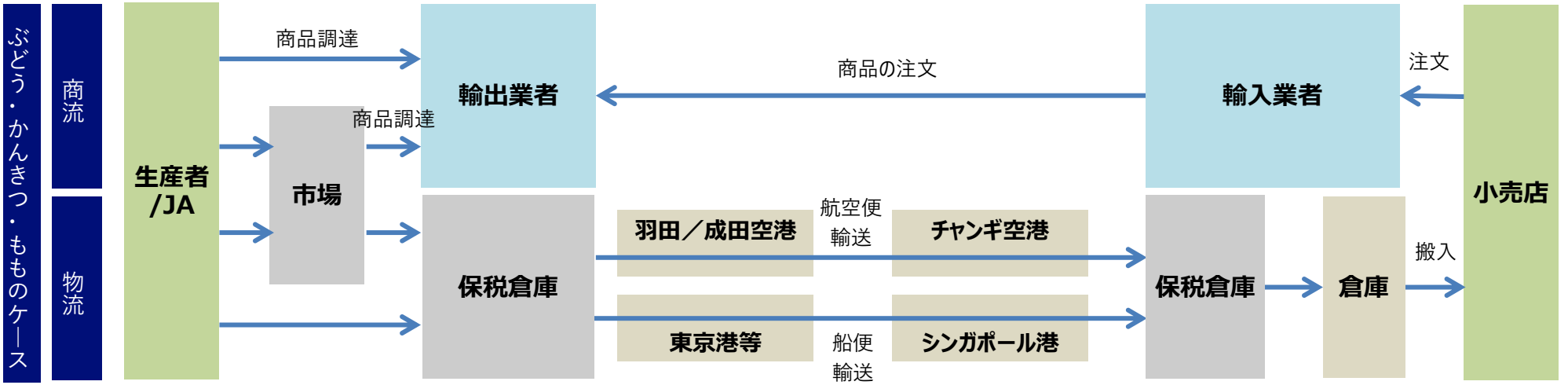
6. その他

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

【一般イメージ】ぶどう・かんきつ・もも：市場を通さず生産者が空港／港に搬入する直送が増加傾向。低価格・大ロット輸送のため船便使用のケースもあるが、大半は航空輸送

流通構造整理イメージ



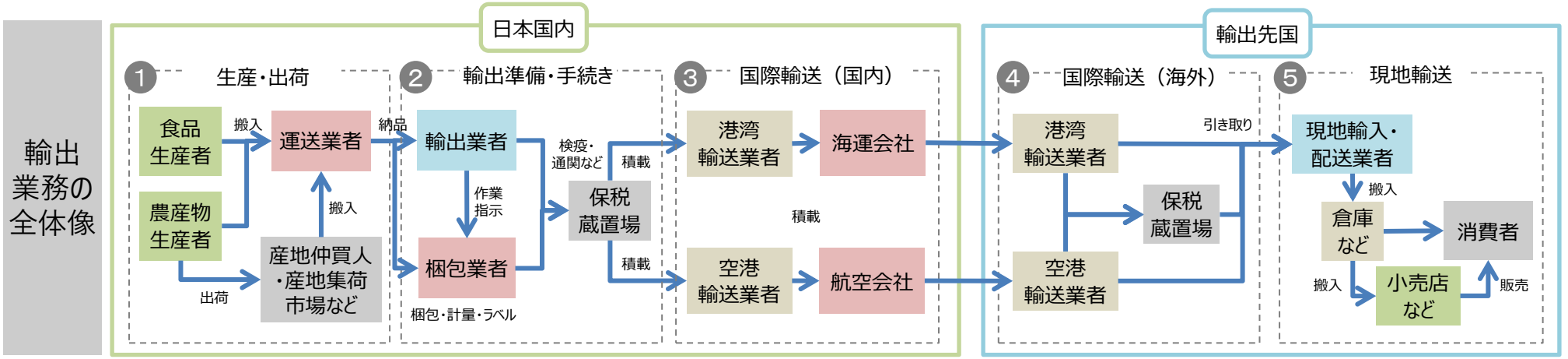


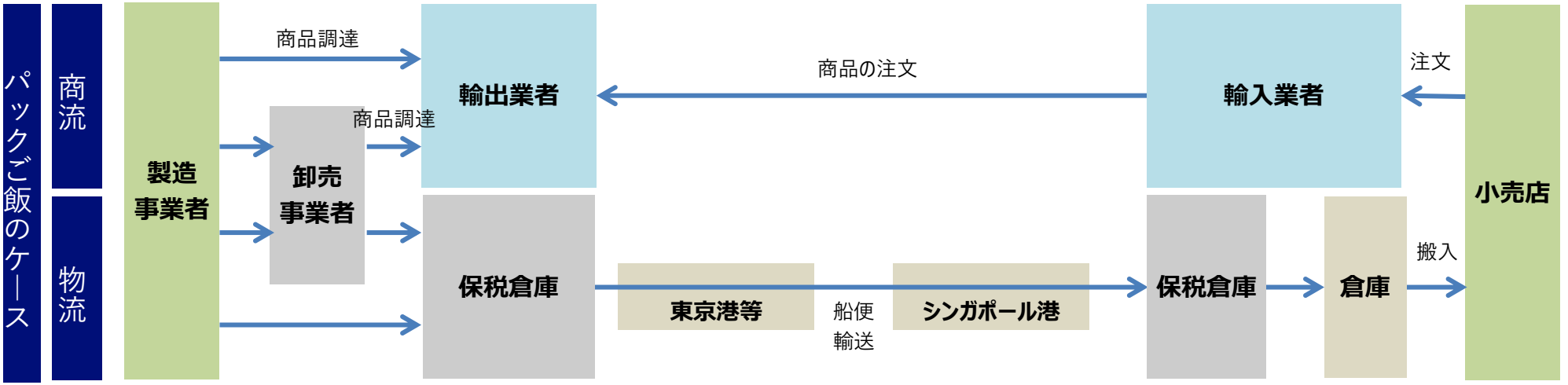
出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」、事業者への聞き取り調査を元にNRIインタビュー

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

【一般イメージ】パックご飯：パックご飯に関しては、賞味/消費期限が長いこともあり、物流費を低く抑えるために一般的には船便が利用される

流通構造整理イメージ





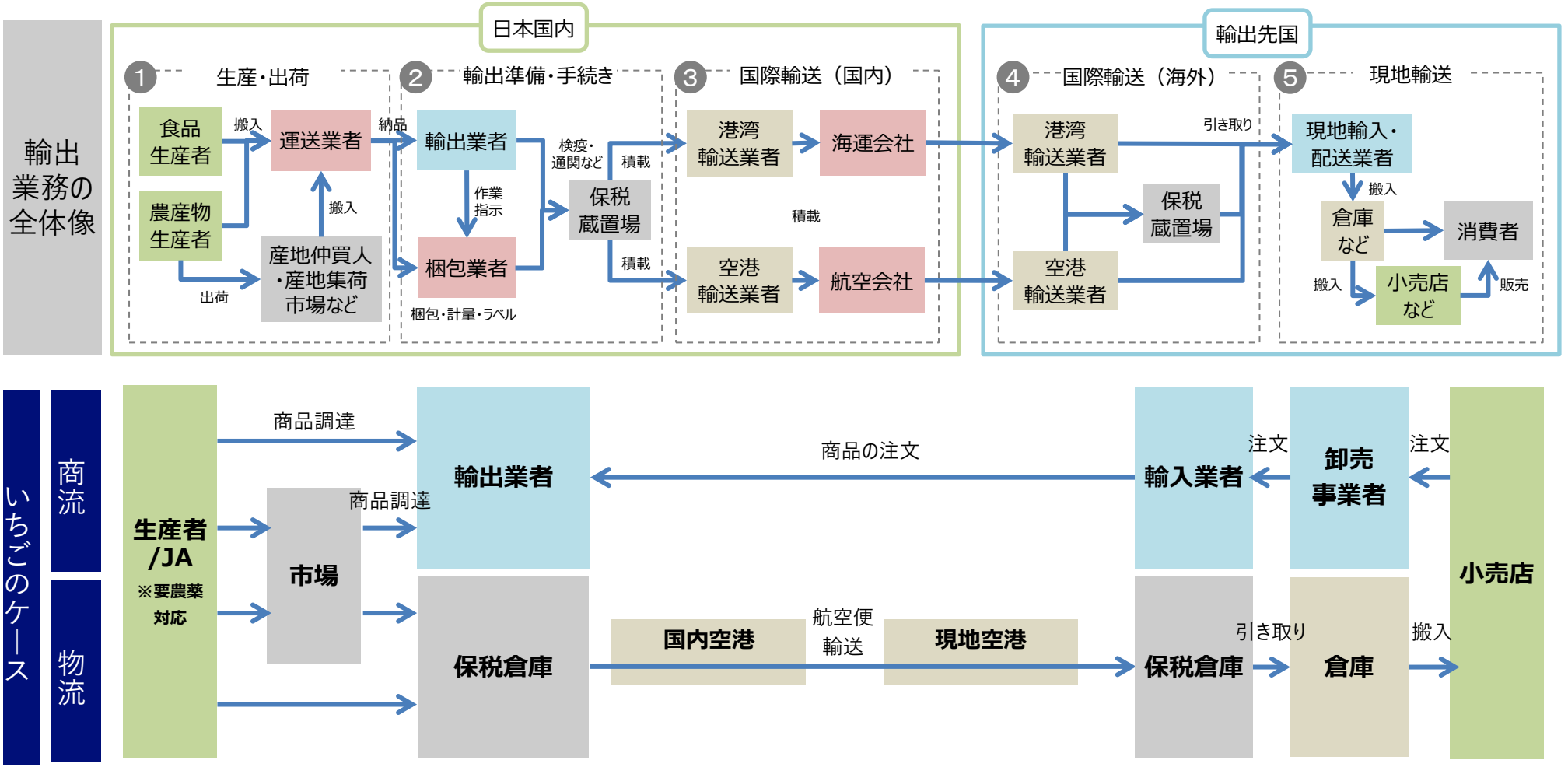
出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」、事業者への聞き取り調査を元にNRIインタビュー

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

【一般イメージ】いちご：米国における農薬規制に対応済みの商品を、鮮度を落とさないよう航空便で輸送。現地輸配送機能を卸売事業者が担うケースも存在

流通構造整理イメージ



出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」、事業者への聞き取り調査を元にNRIインタビュー

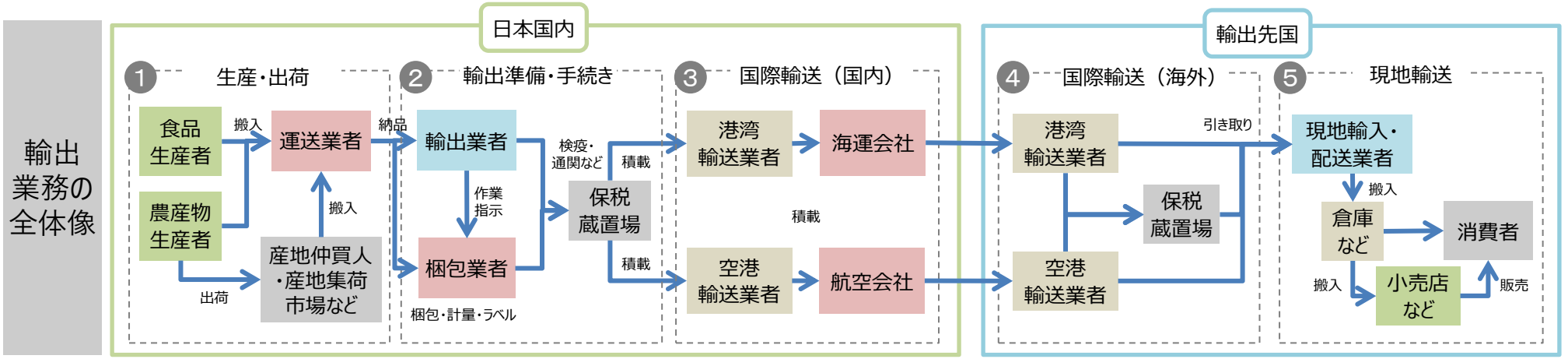
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

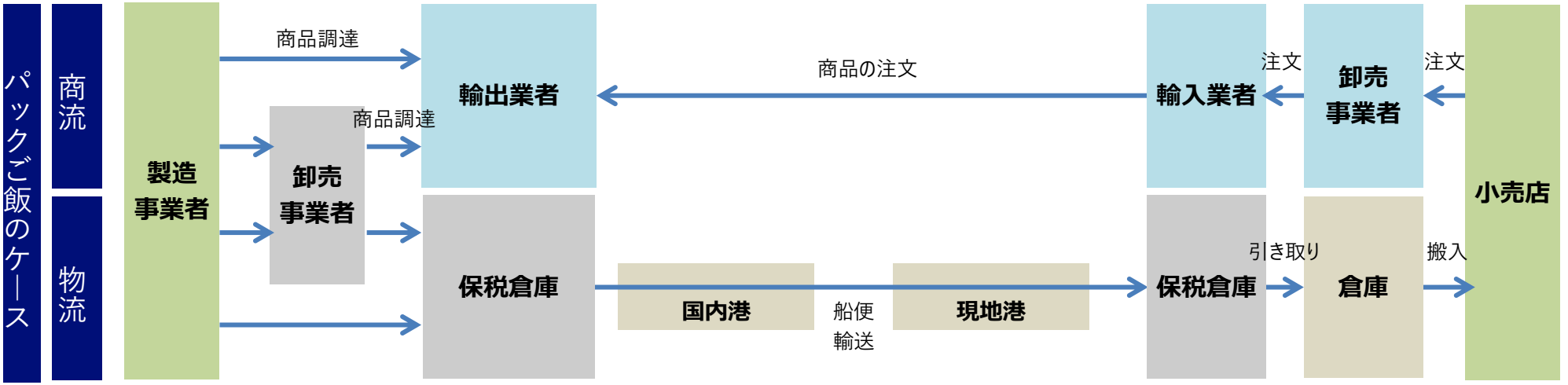
Task4. 聞き取り調査

【一般イメージ】パックご飯：賞味期限が長いため基本的に船便で輸送される。アメリカへの輸出に際しては、製造事業者はFCE・SID※2つの登録番号の認証が求められる

※FCE：Food Canning Establishment, SID：Submission Identifier

流通構造整理イメージ





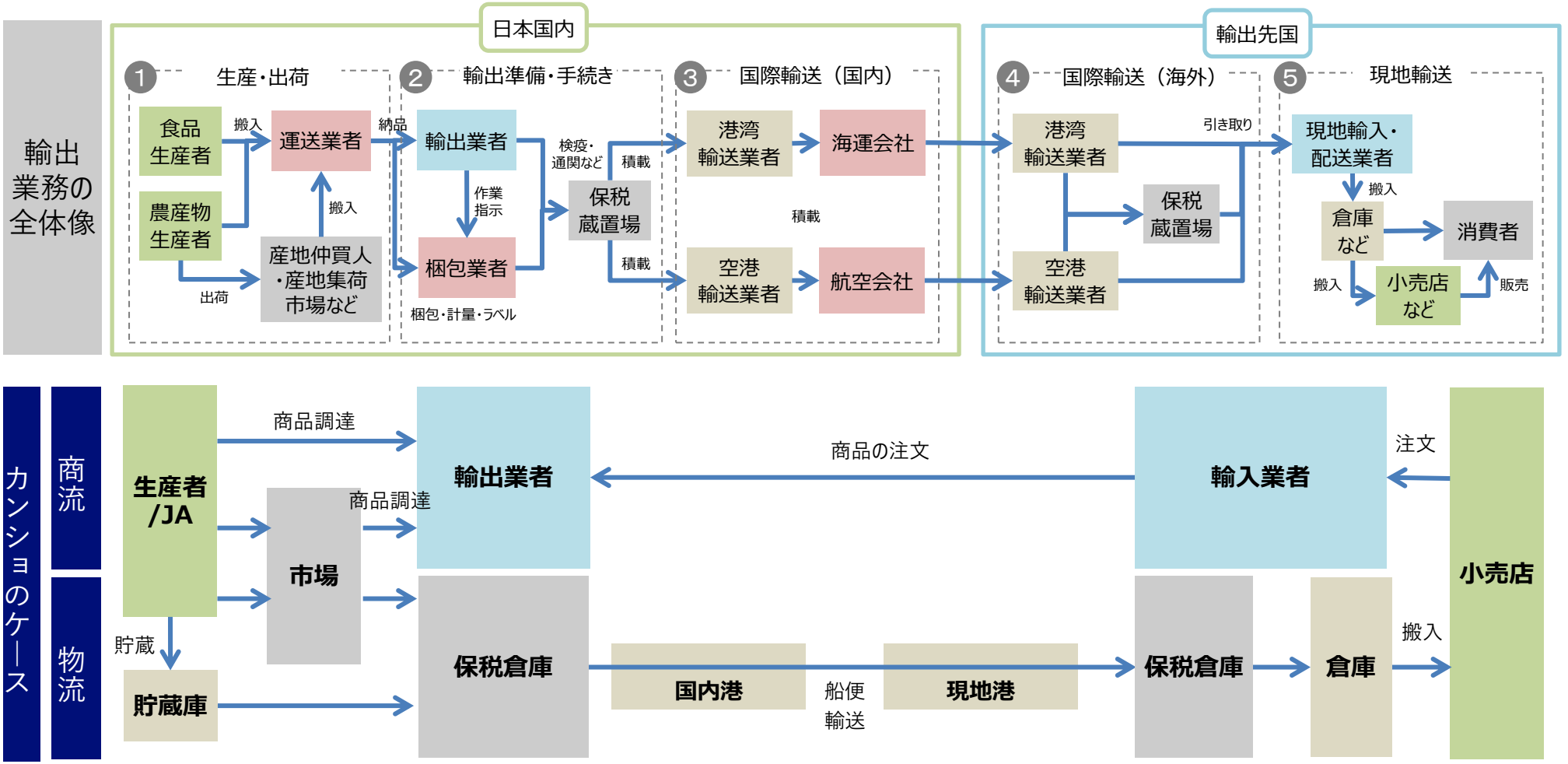
出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」、事業者への聞き取り調査を元にNRIインタビュー

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

【一般イメージ】カンショ：一般的には主に海上輸送で運ばれる。貯蔵庫・選果機を保有する生産者が多く、生産者から直接商社等に販売される直売のケースが多い

流通構造整理イメージ



出所）農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」、事業者への聞き取り調査を元にNRIインタビュー

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けパックご飯】

リードタイムイメージ

船便約28日～35日

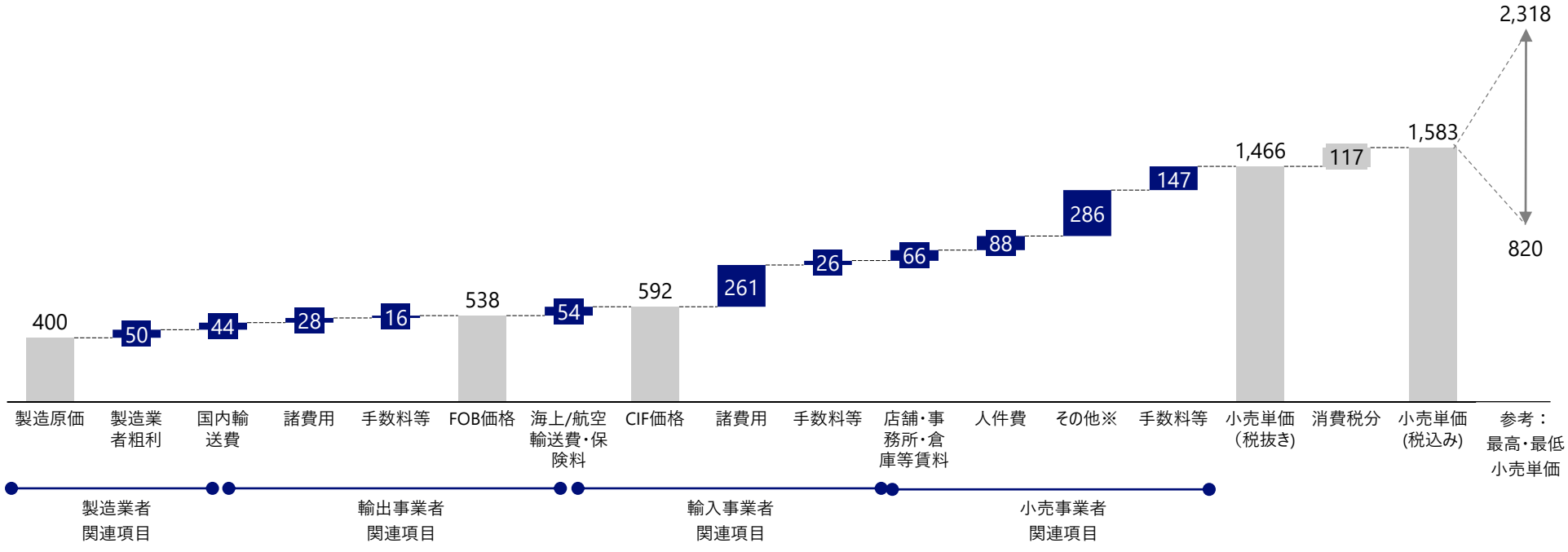
出荷・港輸送	積み込み・発送	輸送	現地保管・輸配送	店頭陳列
約1~7日	約7日~14日	約7日	約7日	約28日～42日

輸送量イメージ

基本的にロスは発生しない

※コンテナ輸送の遅れや通関・検疫待ちの長期化により、対象国輸入以降でロスが発生する場合があることに留意

コスト構造イメージ（円/kg）



※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けパックご飯】　留意点

リードタイムイメージ

船便約28日～35日

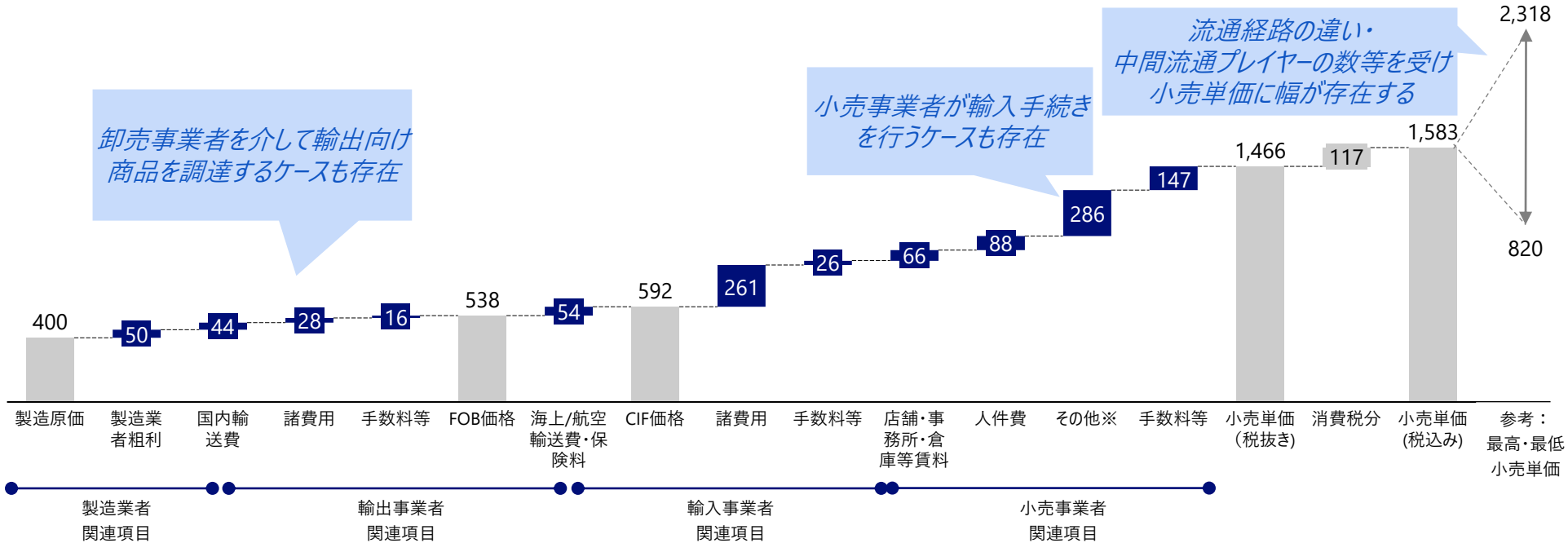
出荷・港輸送	積み込み・発送	輸送	現地保管・輸配送	店頭陳列
約1~7日	約7日~14日	約7日	約7日	約28日～42日

輸送量イメージ

基本的にロスは発生しない

※コンテナ輸送の遅れや通関・検疫待ちの長期化により、対象国輸入以降でロスが発生する場合があることに留意

コスト構造イメージ（円/kg）



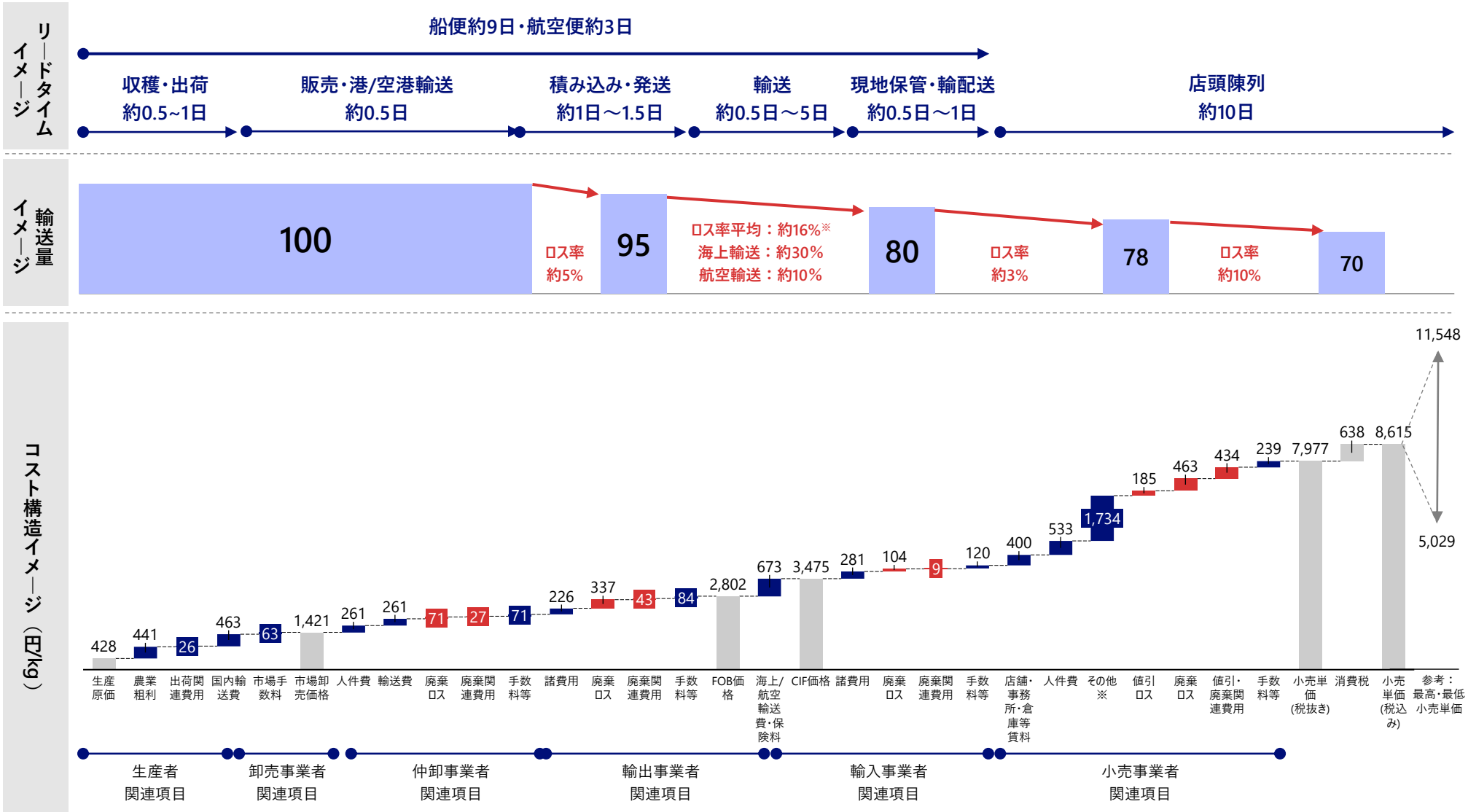
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けぶどう】



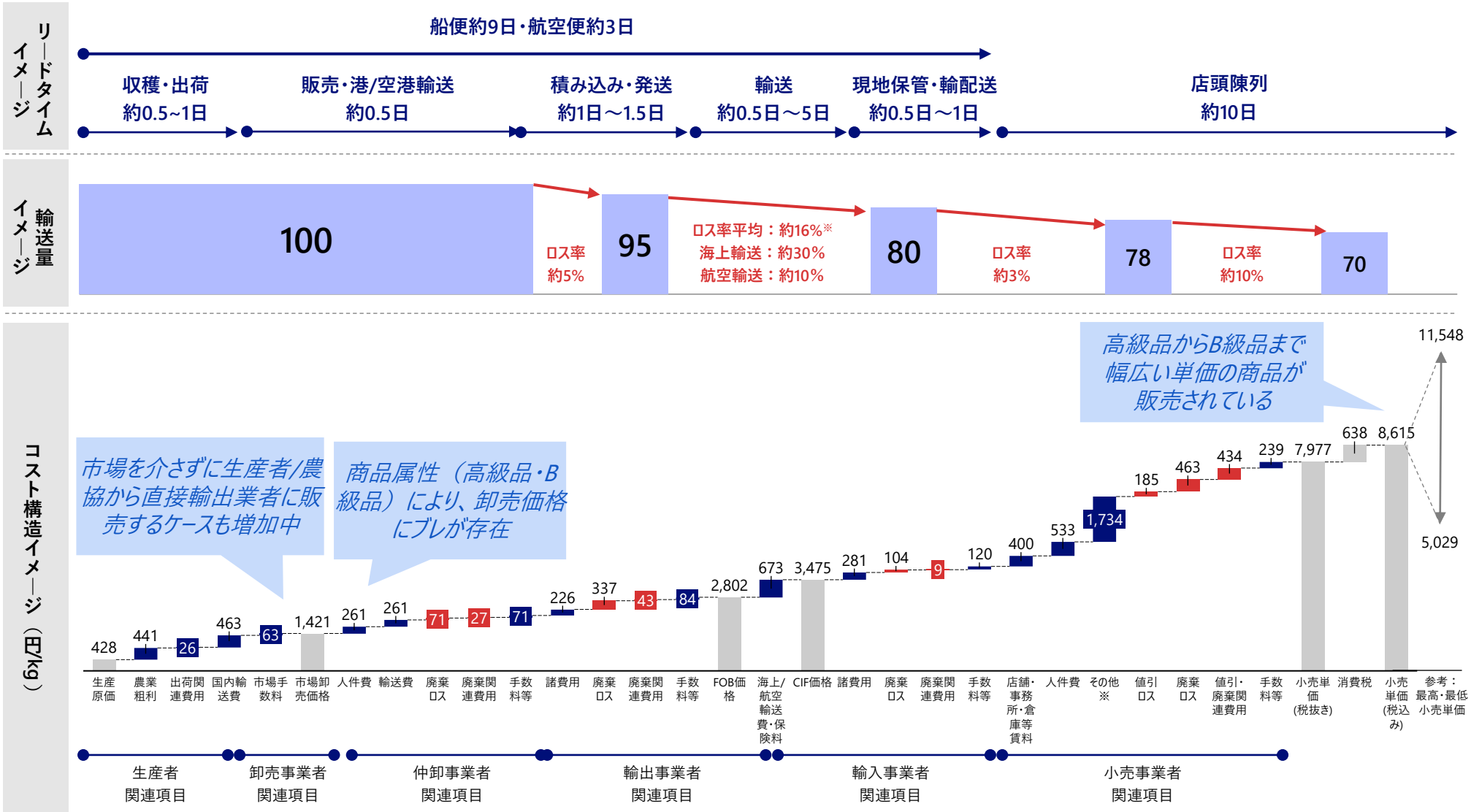
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けぶどう】　留意点



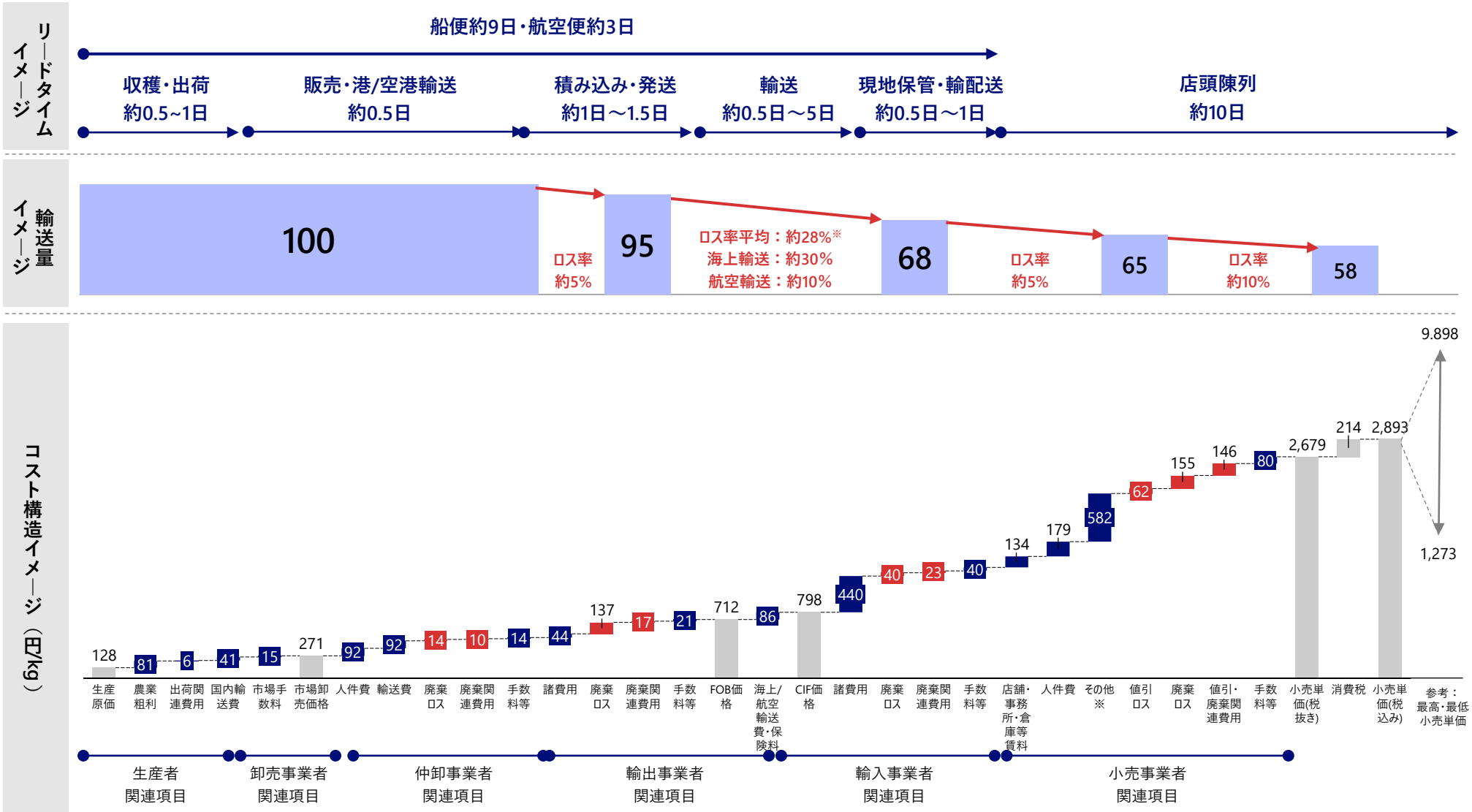
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けかんきつ】



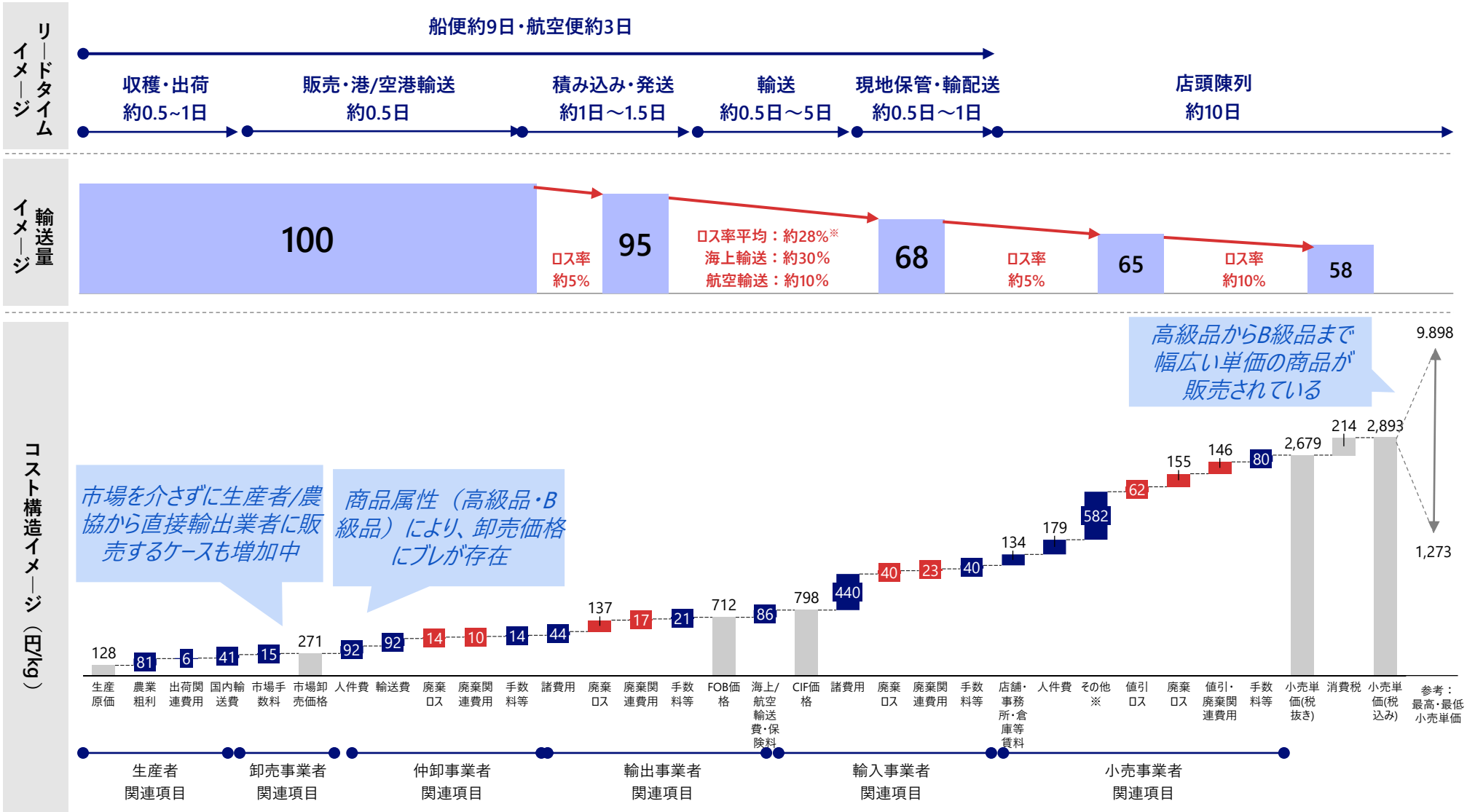
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けかんきつ】留意点



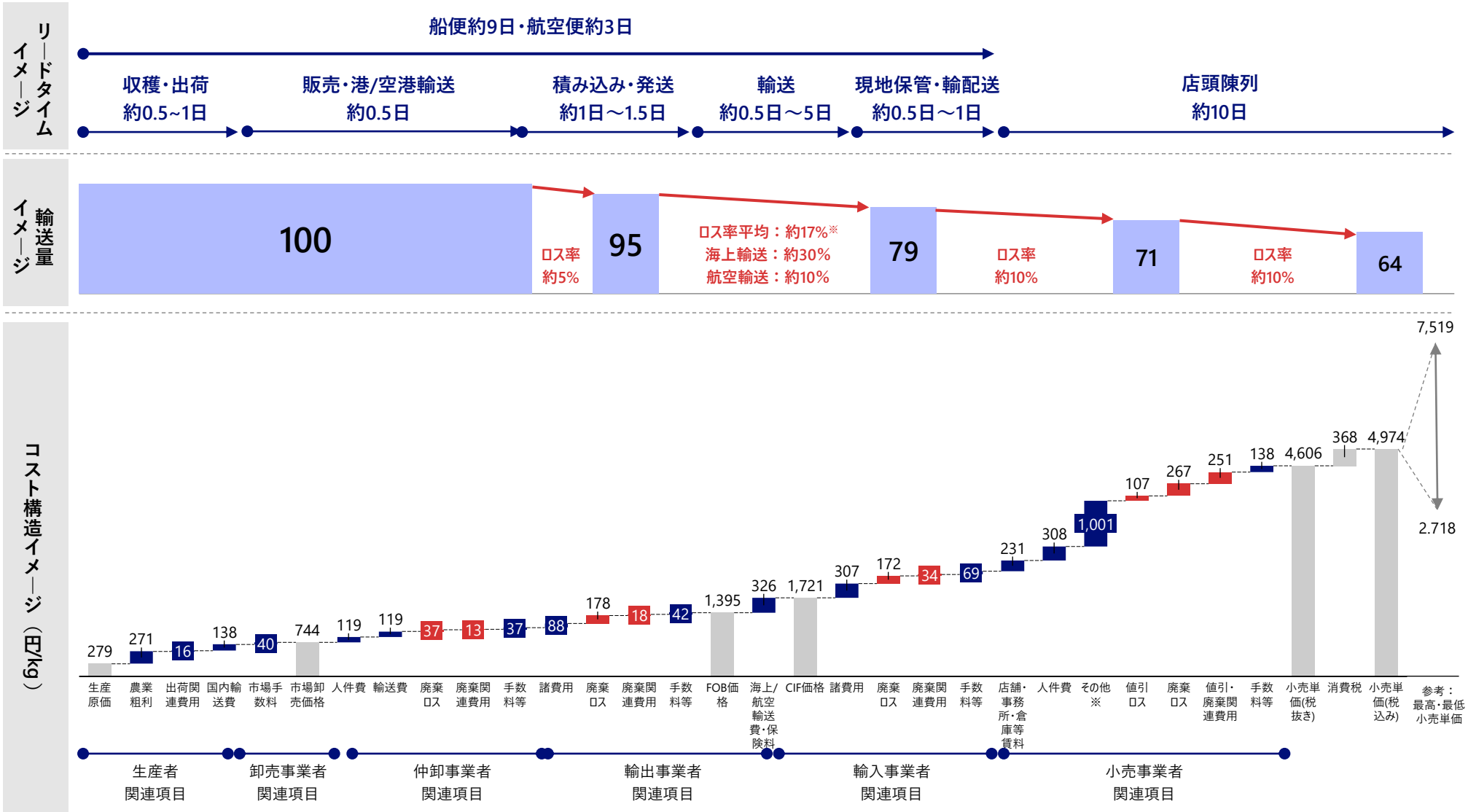
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けも】



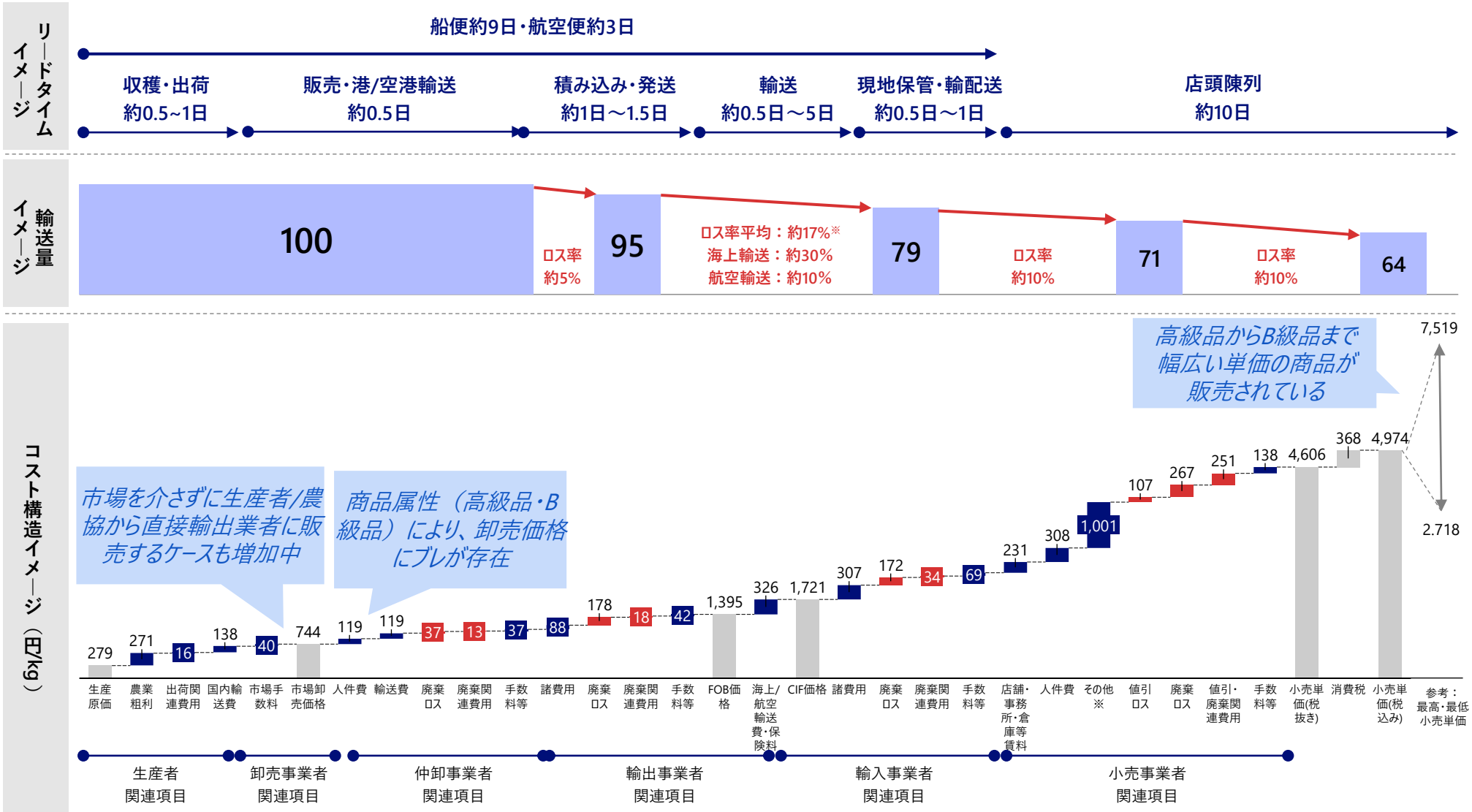
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【シンガポール向けも】留意点



※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理　※輸送モード別ロス率及び輸送モード利用割合（農林水産省「農林水産物・食品輸出の手引き」より）を元に算出

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【アメリカ向けパックご飯】

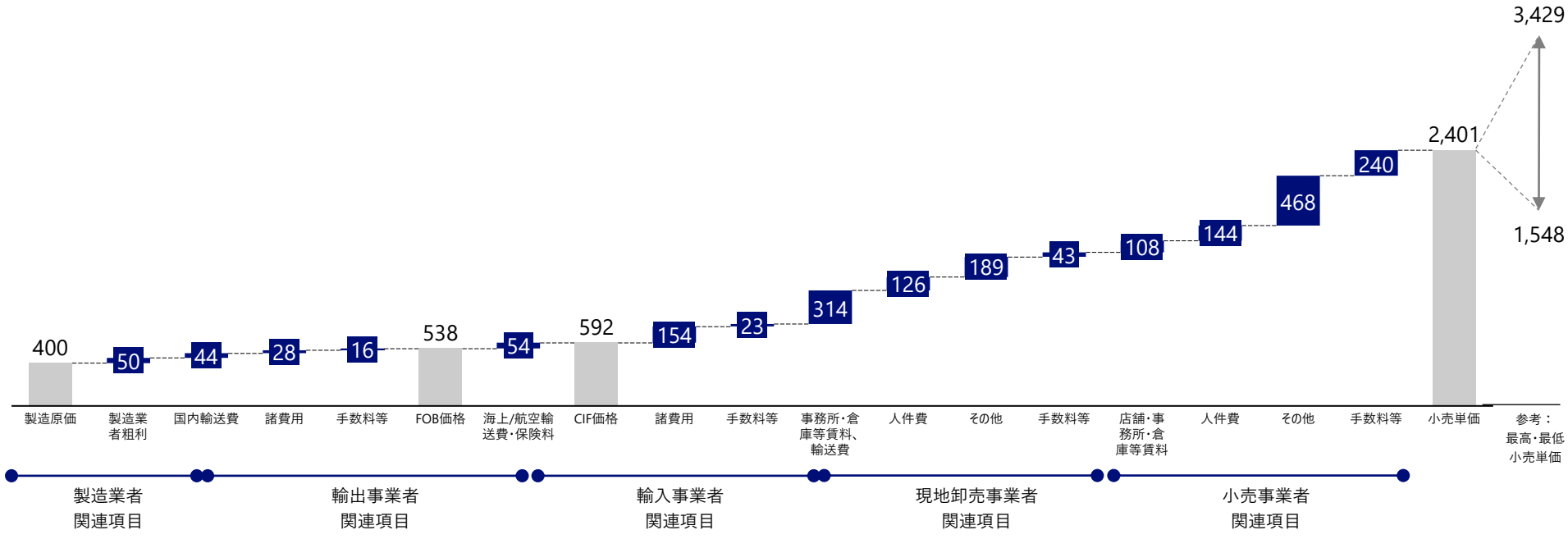
リードタイムイメージ

輸送量イメージ

基本的にロスは発生しない

※コンテナ輸送の遅れや通関・検疫待ちの長期化により、対象国輸入以降でロスが発生する場合があることに留意

コスト構造イメージ（円/kg）



※光熱費・保険料・クレジットカード手数料・万引きによるロス額等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【アメリカ向けパックご飯】　留意点

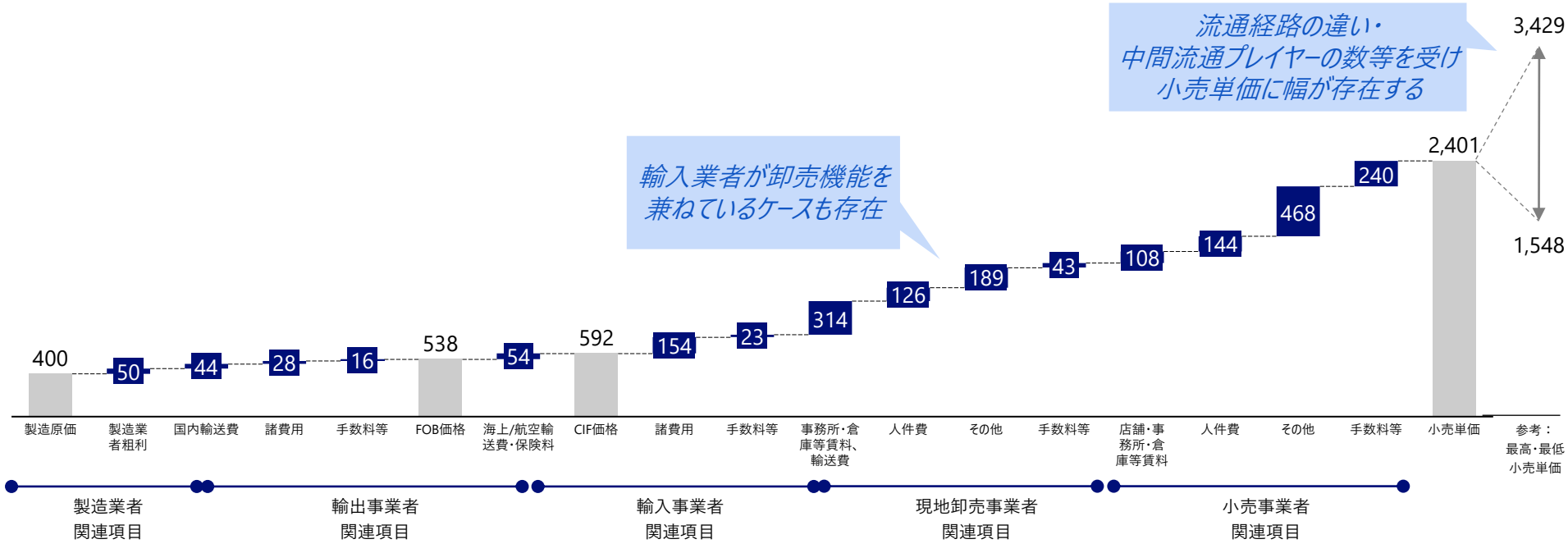
リードタイムイメージ

輸送量イメージ

基本的にロスは発生しない

※コンテナ輸送の遅れや通関・検疫待ちの長期化により、対象国輸入以降でロスが発生する場合があることに留意

コスト構造イメージ（円/kg）



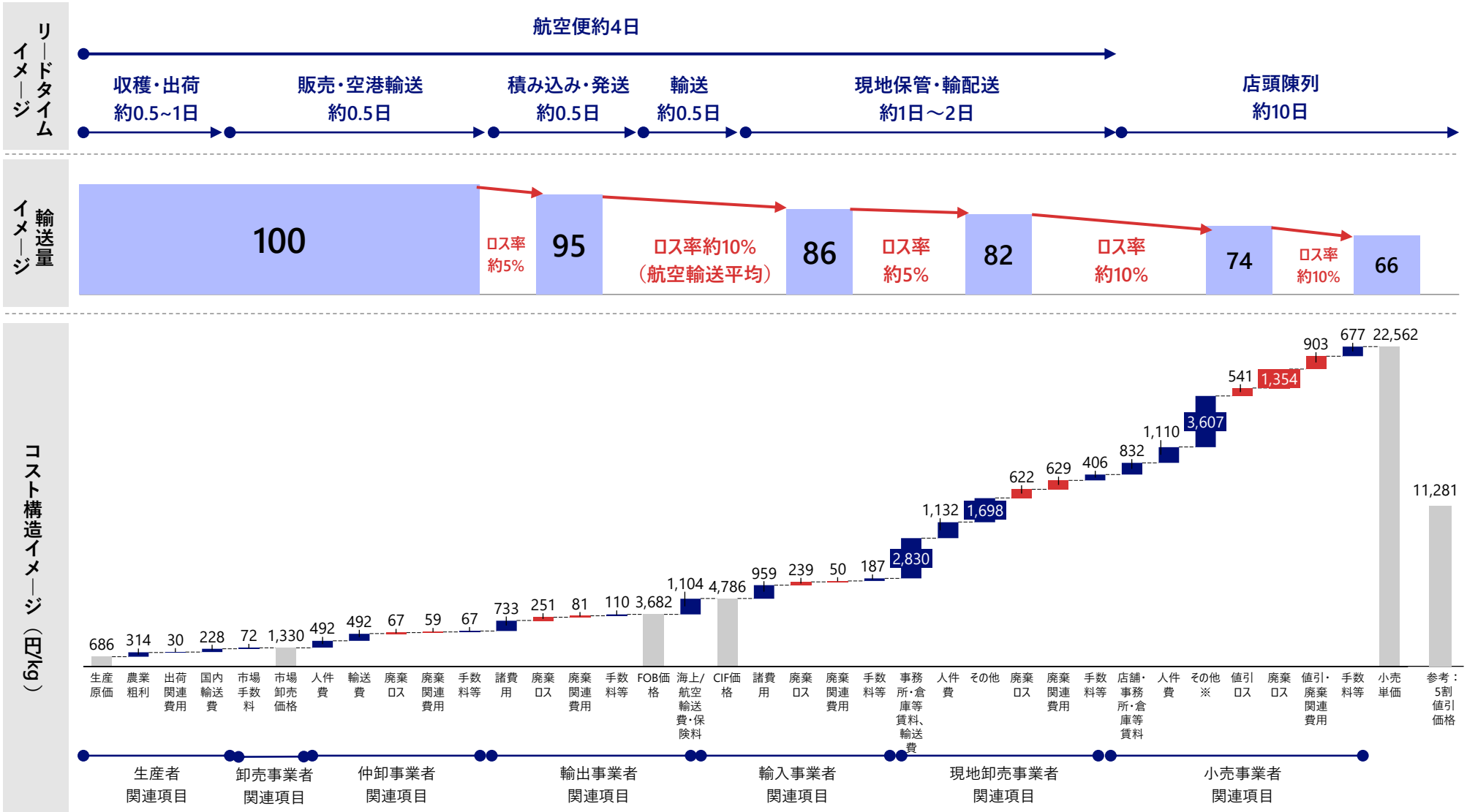
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料・万引きによるロス額等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【アメリカ向けいちご】



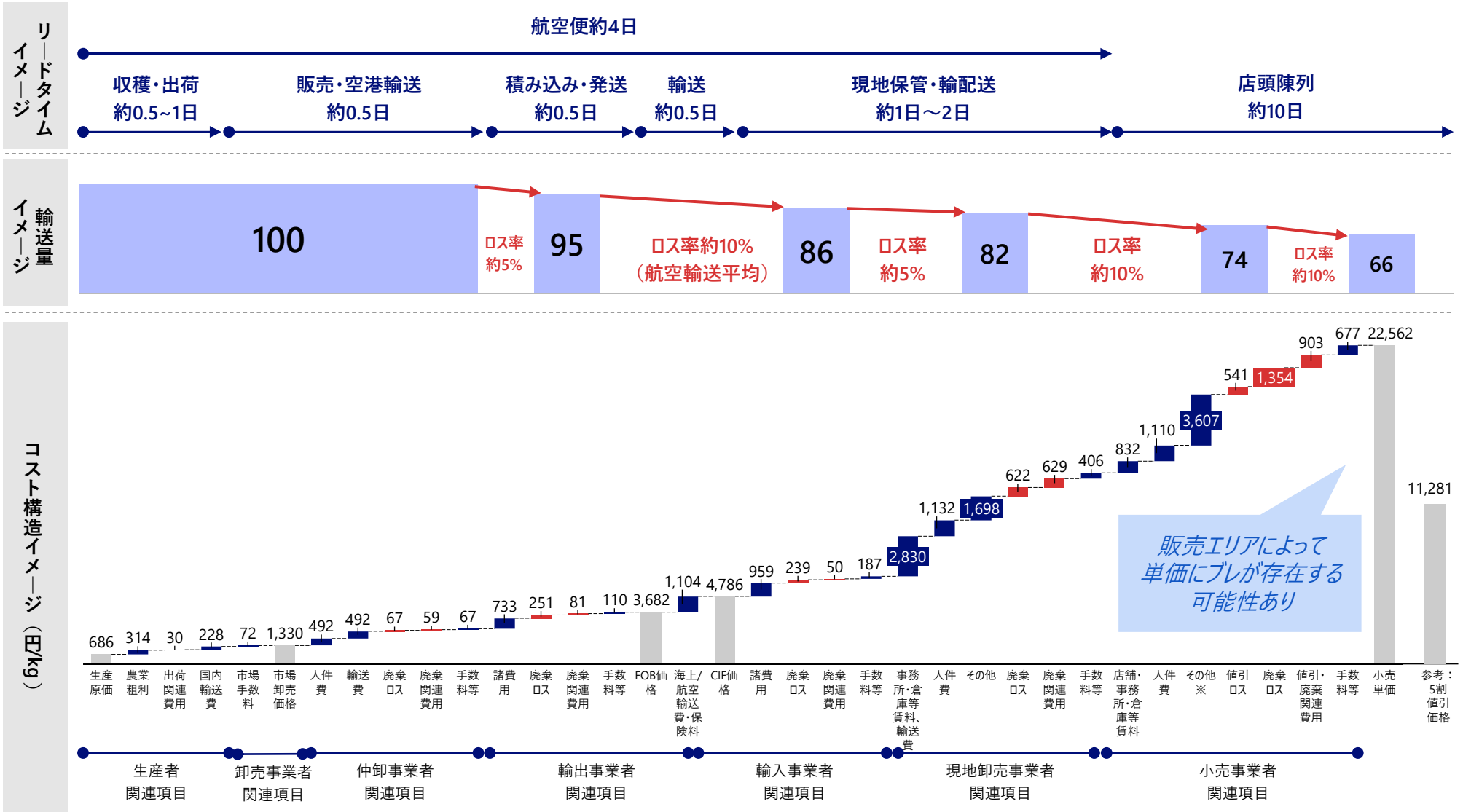
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料・万引きによるロス額等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【アメリカ向けいちご】　留意点



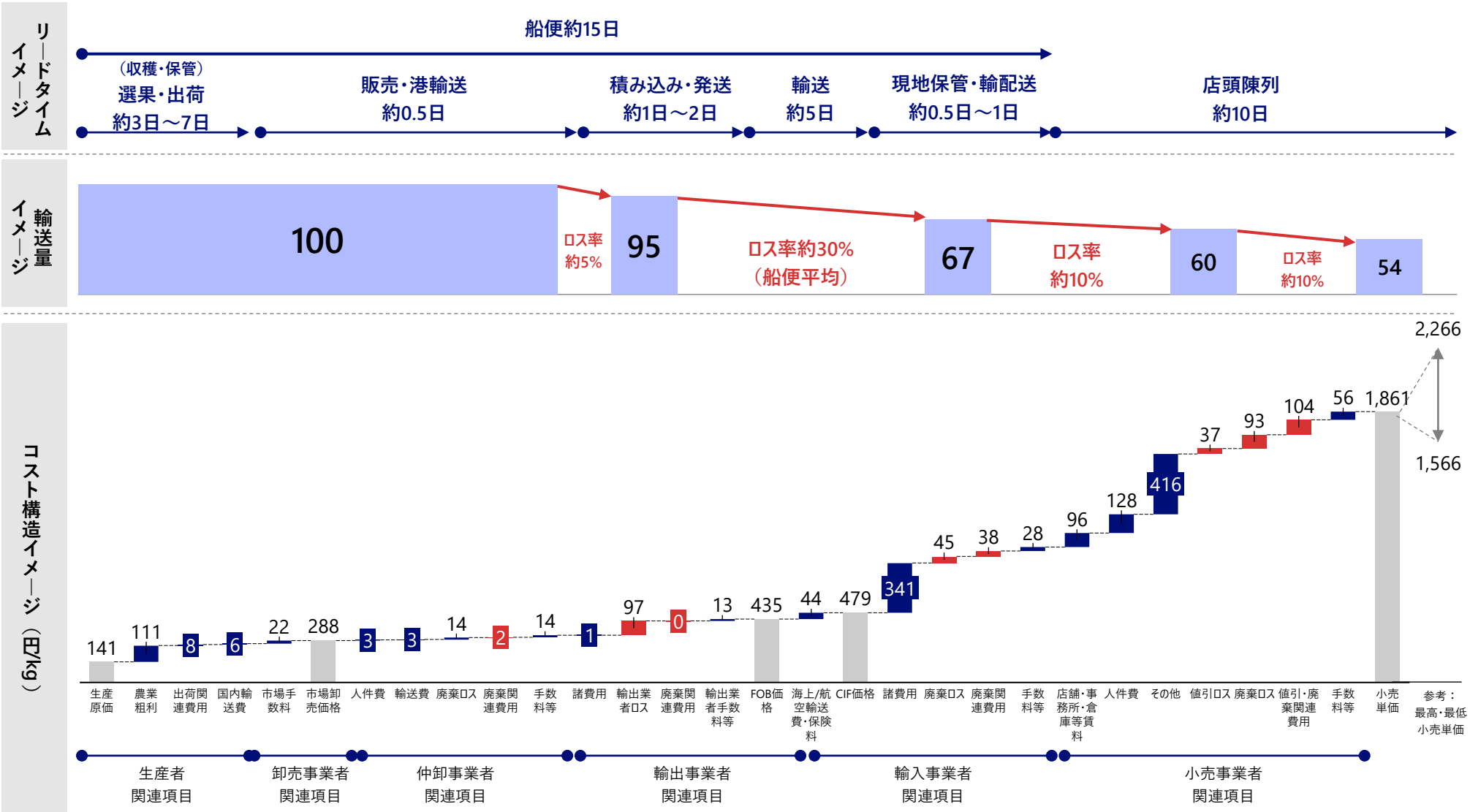
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料・万引きによるロス額等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【タイ向けかんしょ】



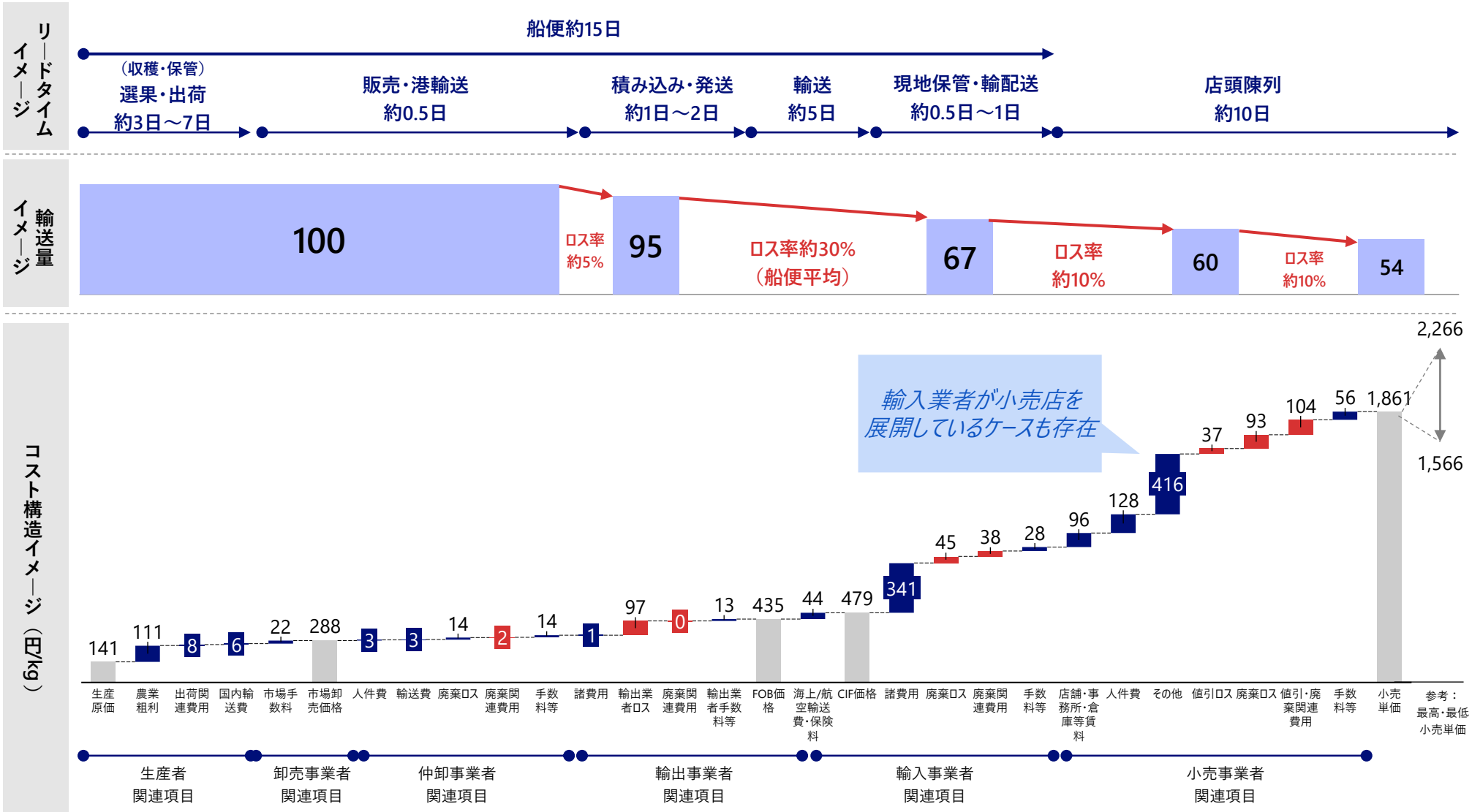
※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

サプライチェーン実態：【タイ向けかんしょ】留意点



※光熱費・保険料・クレジットカード手数料等

出所）事業者への聞き取り調査・公開情報を元にNRI整理

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task4. 聞き取り調査

公開情報及び聞き取り調査を元に、対象国向け対象品目のサプライチェーンコストの現状を整理

サプライチェーンコストの出所・算出方法（シンガポール向けぶどう・かんきつ・もも）

コスト項目	出所・算出方法
生産原価	農林水産省「農業経営統計調査（平成30年確報）」のうち露地ブドウ作経営、平均部門経営費/平均生産量より算出
農業粗利	農林水産省「農業経営統計調査（平成30年確報）」のうち露地ブドウ作経営、平均部門所得/平均生産量より算出
出荷関連費用	農業協同組合新聞、「【原田　康・目明き千人】農協の販売事業を黒字にする方法（2019年8月19日）」中の記載を元に（生産原価＋農業手取）×3%として算出
国内輸送費	市場卸売価格−（生産原価＋農業粗利＋出荷関連費用＋市場手数料）として算出
市場手数料	中央市場手数料（果実）を元に（生産原価＋農業手取り＋出荷関連費用）×7%として算出
市場卸売価格	農林水産省「令和４年青果物卸売市場調査報告」のうち対象品目の平均価格
仲卸関連費用	仲卸関連費用全体については（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち諸費用についてはそれぞれ（仲卸関連費用−その他項目）×50%として算出 手数料は市場卸売価格×5%として算出。廃棄ロスは仕入れ額の5%、廃棄関連費用は関連費用の5%として算出
輸出業者関連費用	（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち手数料等については、販売価格（FOB価格）の3%として算出 廃棄ロスについては輸送モード別ロス率（船便30%、航空便10%）と品目別輸送モード比率を元に算出。廃棄関連費用は関連費用×ロス率%として算出。諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとして算出
貿易統計価格（FOB価格）	貿易統計（2022年12月～2023年11月まで）シンガポール向け対象品目の輸出金額/輸出量を元に算出
海上/航空輸送費・保険料	輸送モード別割合（船便10%、航空便30%）と品目ごとの利用輸送モード割合を元に加重平均して算出
貿易統計価格（CIF価格）	FOB価格＋海上/航空輸送費・保険料より算出
輸入業者関連費用	小売価格−（小売関連費用＋CIF価格）として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%とし算出。 廃棄ロスについては仕入れ額のうちぶどう3%、かんきつ5%、もも10%と算出。廃棄関連費用は関連費用にロス率を乗じて算出。諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとして算出
小売関連費用	小売単価×50%として算出。このうち手数料等については販売価格の3%として算出。廃棄ロスについては仕入れ額の10%、値引ロスは仕入れ額の4%として算出。 値引・廃棄関連費用は関連費用の14%として算出。諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとし、内訳は店舗・事務所・倉庫等賃料が15%、人件費20%として算出
小売単価	現地調査・聞き取り調査を元に設定。

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

サプライチェーンコストの出所・算出方法（アメリカ向けいちご）

コスト項目	出所・算出方法
生産原価	福島県就農ポータルサイト（経営収支シミュレーション、県平均ケース）を元に算出
農業粗利	福島県就農ポータルサイト（経営収支シミュレーション、県平均ケース）を元に算出
出荷関連費用	農業協同組合新聞、「【原田　康・目明き千人】農協の販売事業を黒字にする方法（2019年8月19日）」中の記載を元に（生産原価＋農業手取）×3%として算出
国内輸送費（選果場→市場）	市場卸売価格−（生産原価＋農業手取り＋出荷関連費用＋市場手数料）として算出
市場手数料	中央市場手数料（果実）を元に（生産原価＋農業手取り＋出荷関連費用）×7%として算出
市場卸売価格	農林水産省「令和 4 年青果物卸売市場調査報告」のうち対象品目の平均価格
仲卸関連費用	仲卸関連費用全体については（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち諸費用についてはそれぞれ（仲卸関連費用−その他項目）×50%として算出 手数料は市場卸売価格×5%として算出。廃棄ロスは仕入れ額の5%、廃棄関連費用は関連費用の5%として算出
輸出業者関連費用	（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち手数料等については、販売価格（FOB価格）の3%として算出 廃棄ロスについては10%、廃棄関連費用については関連費用の10%として算出。諸経費は関連費用からその他項目を除いたものとして算出
貿易統計価格（FOB価格）	貿易統計（2022年12月～2023年11月まで）アメリカ向け対象品目の輸出金額/輸出量を元に算出
海上/航空輸送費・保険料	UN Comtrade情報を元にFOB価格×30%として算出
貿易統計価格（CIF価格）	FOB価格＋海上/航空輸送費・保険料より算出
輸入業者関連費用	CIF価格×30%として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%として算出。廃棄ロスについては仕入れ額の10%、廃棄関連費用は関連費用の10%として算出。 諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとして算出
現地卸売事業者関連費用	小売価格−（小売関連費用＋輸入業者関連費用＋CIF価格）として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%として算出。廃棄ロスについては仕入れ額の5%、廃棄関連費用は関連費用の5%として算出。諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとし、事務所・倉庫等賃料、輸送費：50%、人件費：20%として算出
小売関連費用	小売単価×40%として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%として算出。廃棄ロスについては仕入れ額の10%、値引ロスは仕入れ額の4%として算出として算出。 諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとし、内訳は店舗・事務所・倉庫等賃料が15%、人件費20%として算出
小売単価	事業者聞き取り調査より$40/250gとして算出

Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

サプライチェーンコストの出所・算出方法（シンガポール・アメリカ向けパックご飯）

コスト項目	出所・算出方法
製造原価	農業協同組合新聞、「レインボー米をパックごはんで作れないか依頼した米穀業者（2021年10月5日）」中の記載を元に設定
製造業者粗利	製造原価及び公開情報（食品開発OEM.jp、「食品OEMにおける商品開発の費用・相場とは？（2021年4月20日）」）中の記載及び聞き取り調査結果を踏まえて設定
国内輸送費	FOB価格−（製造原価＋手取＋輸出業者関連費用）として算出
輸出業者関連費用	FOB価格−（製造原価＋手取））×50%として算出。このうち手数料については販売価格×3%として算出。諸費用については輸出業者関連費用−手数料等として算出
貿易統計価格（FOB価格）	貿易統計（2022年12月～2023年11月まで）シンガポール・アメリカ向け対象品目の輸出金額/輸出量を元に算出
海上/航空輸送費・保険料	FOB価格×10%として算出
貿易統計価格（CIF価格）	FOB価格＋海上/航空輸送費・保険料より算出
輸入業者関連費用	シンガポール向けに関しては小売価格−（小売関連費用＋CIF価格）として算出 アメリカ向けに関してはCIF価格×30%として算出。このうち手数料については販売価格×3%として算出。諸費用については輸入業者関連費用−手数料等として算出
現地卸売事業者関連費用	小売価格−（小売関連費用＋輸入業者関連費用＋CIF価格）として算出。このうち手数料については販売価格×3%として算出。諸費用については現地卸売事業者関連費用−その他項目とし、諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとし、事務所・倉庫等賃料、輸送費：50%、人件費：20%として算出。※シンガポールについては費用項目の設定なし
小売関連費用	聞き取り調査を元に小売単価×40%と設定。このうち手数料等については、販売価格の3%として算出。 諸費用は関連費用から手数料等を除いたものとして、内訳は店舗・事務所・倉庫等賃料が15%、人件費20%として算出
小売単価	現地調査・聞き取り調査を元に設定

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

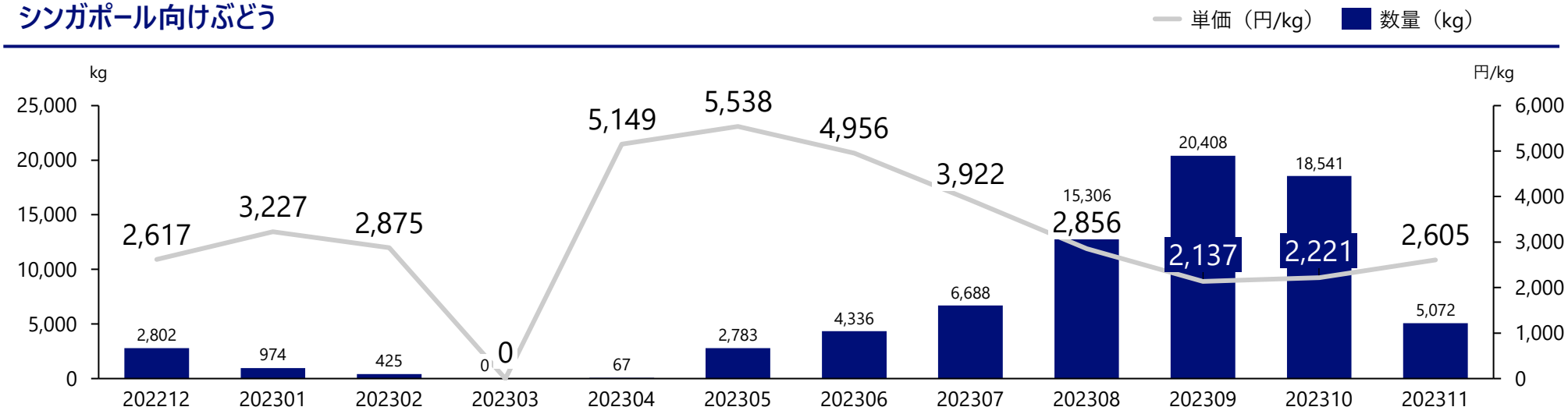
サプライチェーンコストの出所・算出方法（タイ向けかんしょ）

コスト項目	出所・算出方法
生産原価・農業粗利	島根県出雲市、「西浜いも（かんしょ）の経営モデル（就農5年後想定）」及び千葉県多古町「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」を元に設定
出荷関連費用	農業協同組合新聞、「【原田　康・目明き千人】農協の販売事業を黒字にする方法（2019年8月19日）」中の記載を元に（生産原価＋農業手取）×3%として算出
国内輸送費	市場卸売価格−（生産原価＋農業粗利＋出荷関連費用＋市場手数料）として算出
市場手数料	中央市場手数料（果実）を元に（生産原価＋農業手取り＋出荷関連費用）×8.5％として算出
市場卸売価格	農林水産省「令和 4 年青果物卸売市場調査報告」のうち対象品目の平均価格
仲卸関連費用	仲卸関連費用全体については（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち諸費用についてはそれぞれ（仲卸関連費用−手数料等−ロス）×50%として算出 手数料は市場卸売価格×5％として算出。ロスは仕入れ額の5%として算出
輸出業者関連費用	（FOB価格−市場卸売価格）×50%として算出。このうち手数料等については、販売価格（FOB価格）の3%として算出 ロスについては30%として算出。諸経費は関連費用から手数料等及びロスを除いたものとして算出
貿易統計価格（FOB価格）	貿易統計（2022年12月～2023年11月まで）タイ向け対象品目の輸出金額/輸出量を元に算出
海上/航空輸送費・保険料	FOB価格×10％として算出
貿易統計価格（CIF価格）	FOB価格＋海上/航空輸送費・保険料より算出
輸入業者関連費用	小売価格−（小売関連費用＋CIF価格）として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%と仮定。廃棄ロスについては仕入れ額の10％として算出。廃棄関連費用は関連費用の10%として算出。諸費用は関連費用からその他項目を除いたものとして算出
小売関連費用	小売単価×50%として算出。このうち手数料等については、販売価格の3%として算出。 ロスについては仕入れ額の10％として算出。諸費用は関連費用から手数料等及びロスを除いたものとし、内訳は店舗・事務所・倉庫等賃料が15%、人件費20%として算出
小売単価	デスクトップ調査（独立行政法人日本貿易振興機構「主要都市における芋類の市場価格調査 」）を元に設定

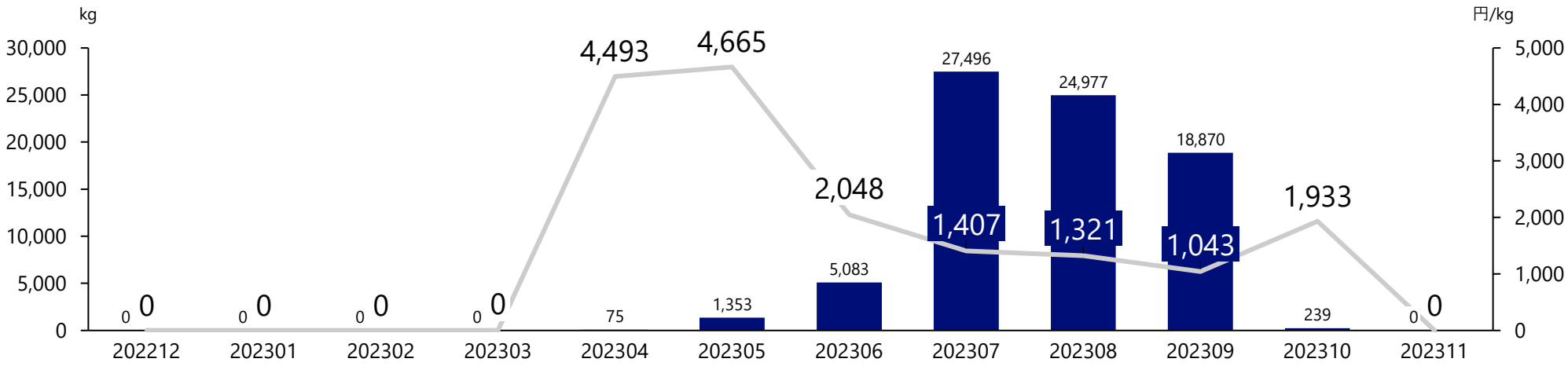
Copyright (C)　Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考：貿易統計の該当HSコードの輸出量・単価推移（1 / 3）

シンガポール向けぶどう



シンガポール向けもも

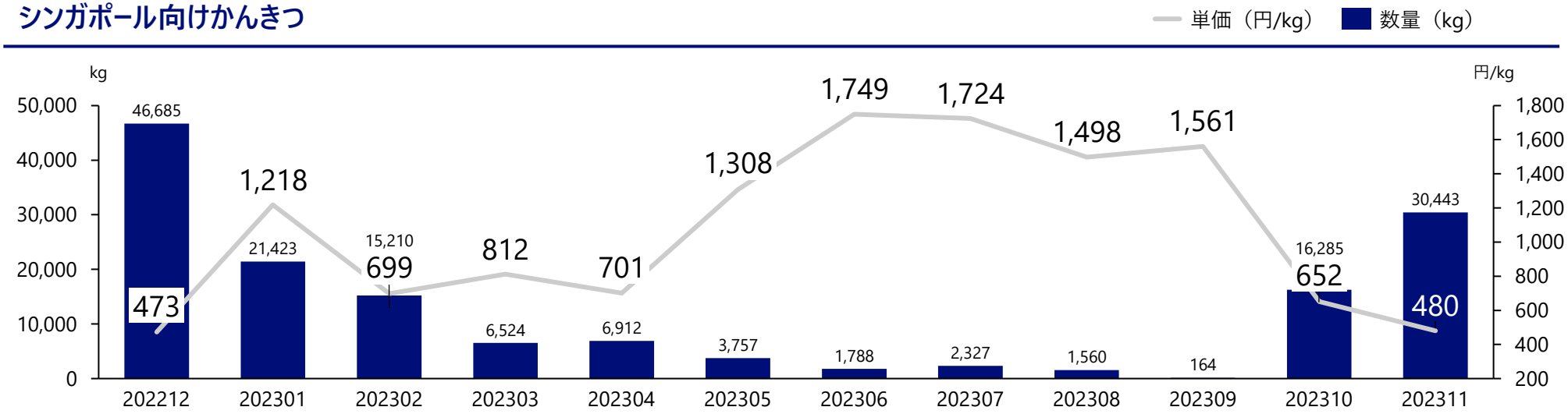


出所）貿易統計

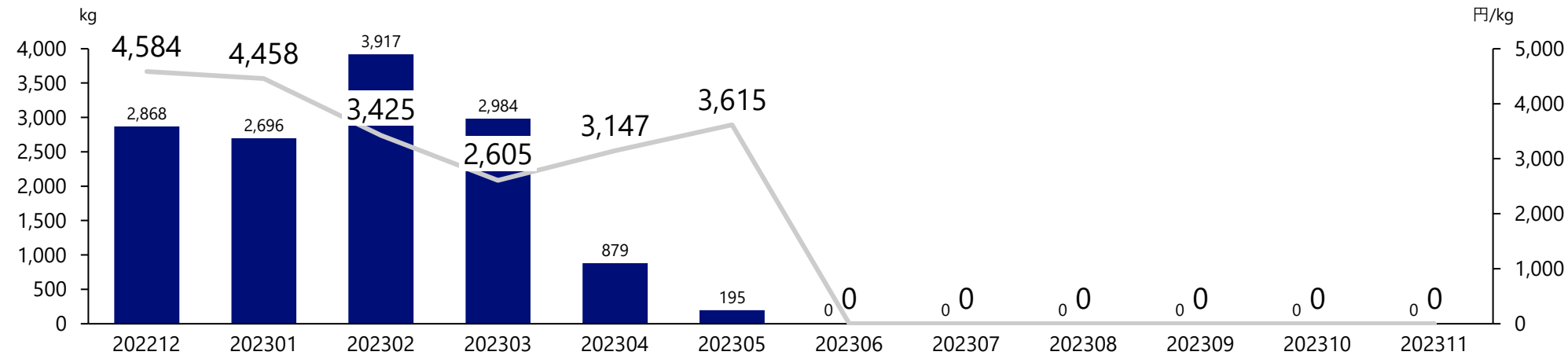
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考：貿易統計の該当HSコードの輸出量・単価推移（2 / 3）

シンガポール向けかんきつ



アメリカ向けいちご

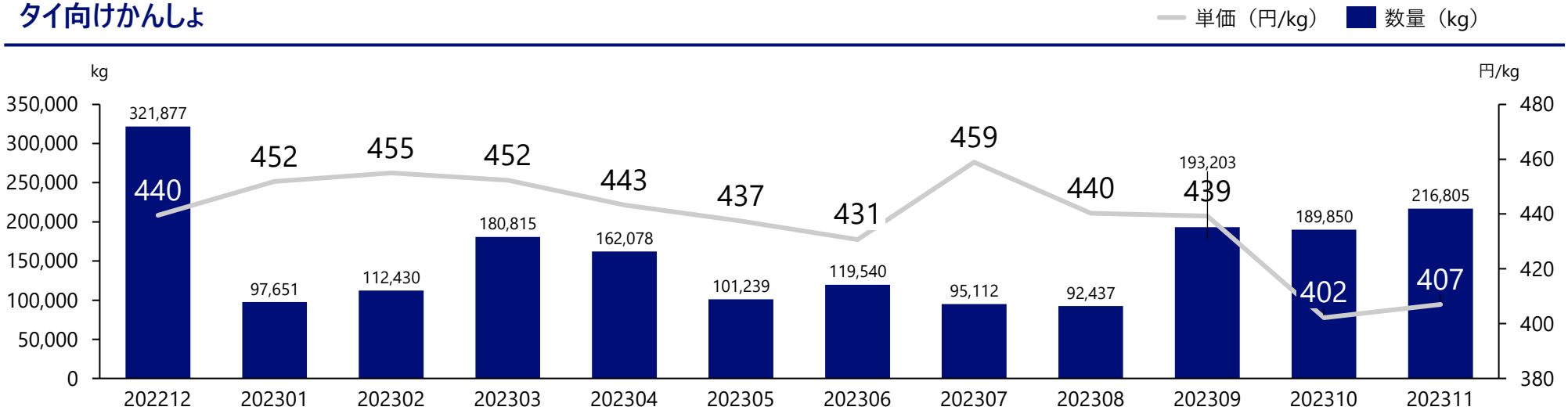


出所）貿易統計

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考：貿易統計の該当HSコードの輸出量・単価推移（3 / 3）

タイ向けかんしょ



出所）貿易統計

Copyright（C） Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考：ニューヨークへ加工食品を海上コンテナ（混載）で送った場合の例では、仕向け地小売店売価は国内保税庫納入価の約3.4倍となっている

- 以下はニューヨークへ加工食品を海上コンテナ（混載）で送った場合の例（2009年時点）
- この項目のなかで、国によって差が出るのが物流費と関税という理解
- なお、コロナ流行を経て物流費が大幅に上がった国があることと、冷凍での混載便がある国が限られていることから、輸送運賃については詳細を調べる必要がある。

ニューヨークへの加工食品（海上コンテナ）

国内保税庫の納品単価￥120（20個入りケース当たり￥2400）
［国内メーカーの希望小売単価￥200（20個入りケース当たり￥4000）］

品目・仕向地	加工食品一般・ニューヨーク
輸出形態	海上コンテナ（混載）
ロット	1ケース20個入り、外（30cm×40cm×35cm）=0.042m³（立米）

（1ロット（1ケース）当たりのコスト）　（¥100=$1で換算）

	国内保税庫納入価	（@ ¥120）	20入×@ ¥120	¥ 2,400
	ケースマーク・ラベル代		ケースマーク¥10＋ラベル代20枚×@ ¥4/枚	¥ 90
	貼り手間		20枚×@ ¥6/枚	¥ 120
	輸出諸掛		0.042m³×@ ¥5,000/立米	¥ 210
	輸出者手数料		¥2,400×10%	¥ 240
	FOB Japan	（@ ¥153）	輸出価格	¥ 3,060
	海上保険		FOB×110%×0.5%	¥ 17
★	海上運賃		0.042m³×@ ¥16,000/立米	¥ 672
	CIF New York	（@ ¥187）	現地港着値	¥ 3,749
	（通貨換算	（@ $1.87）	¥3,749÷@ ¥100	$ 37.49）
	輸入諸掛		0.042m³×@ $100.00	$ 4.20
★	関税		FOB×10%（平均）	$ 3.06
	輸入者手数料		CIF×10%	$ 4.16
	倉庫原価		倉庫着原価	$ 48.91
	販売者手数料		原価/15%（配送費込み）	$ 8.63
	卸売価格	（@ $2.88（¥288））	店着価格	$ 57.54
	仕向地小売店売価	（@ $4.11（¥411））	店着/30%	$ 82.20（¥ 8,220）

（注） 仕向地小売店売価は、国内保税庫納入価の約3.4倍（¥8,220÷¥2,400）、国内希望小売価格の約2倍（¥8,220÷¥4,000）になります。

★：特に国ごとに異なる項目

出所）農林水産省「農林水産物・食品の『輸出』についてのヒント集」

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

議題

- 背景と目的、スケジュール
- 調査結果サマリー
- **物流・商流調査実施報告**
  - 1. 調査対象選定
  - 2. 流通構造調査
  - 3. サプライチェーンの現状・課題・対応策仮説の整理
  - 4. 聞き取り調査
  - **5. 取りまとめ**

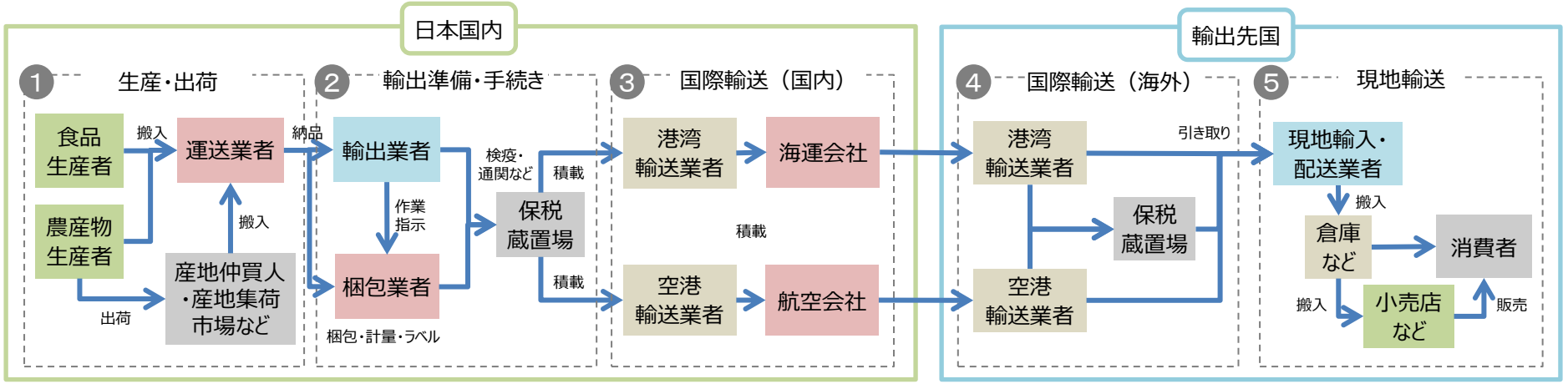
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task5. 取りまとめ

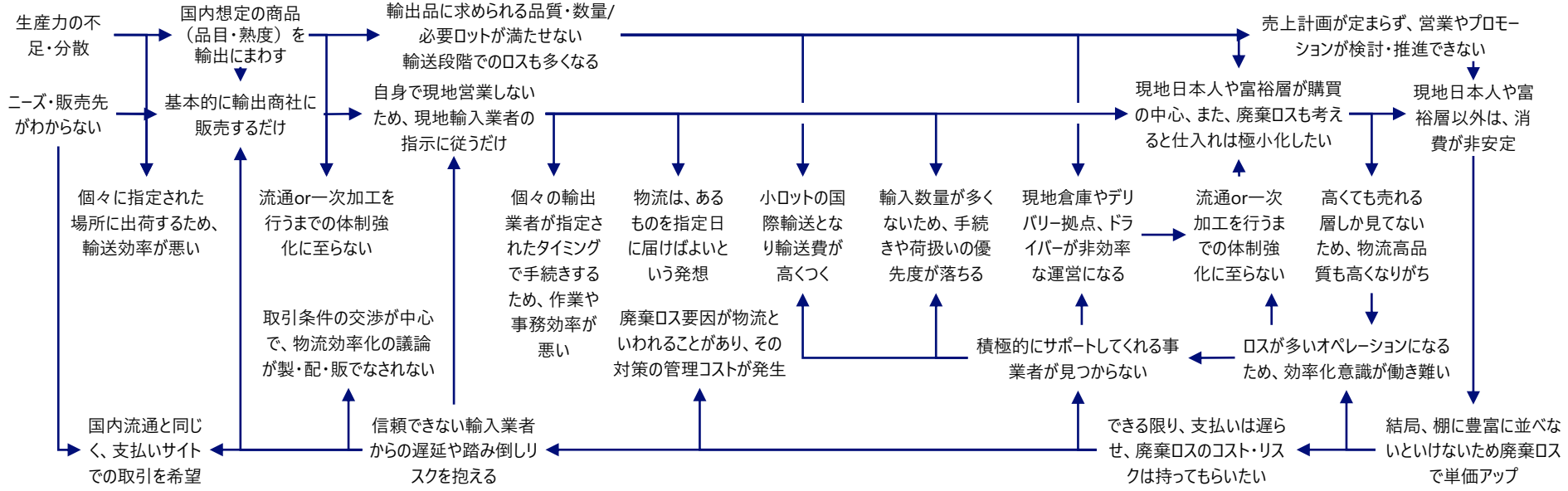
食品輸出のサプライチェーン上の課題については、当初仮説に加え聞き取り調査より輸出商品及び輸送段階でのロスについての意見が得られた

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある

輸出業務の全体像



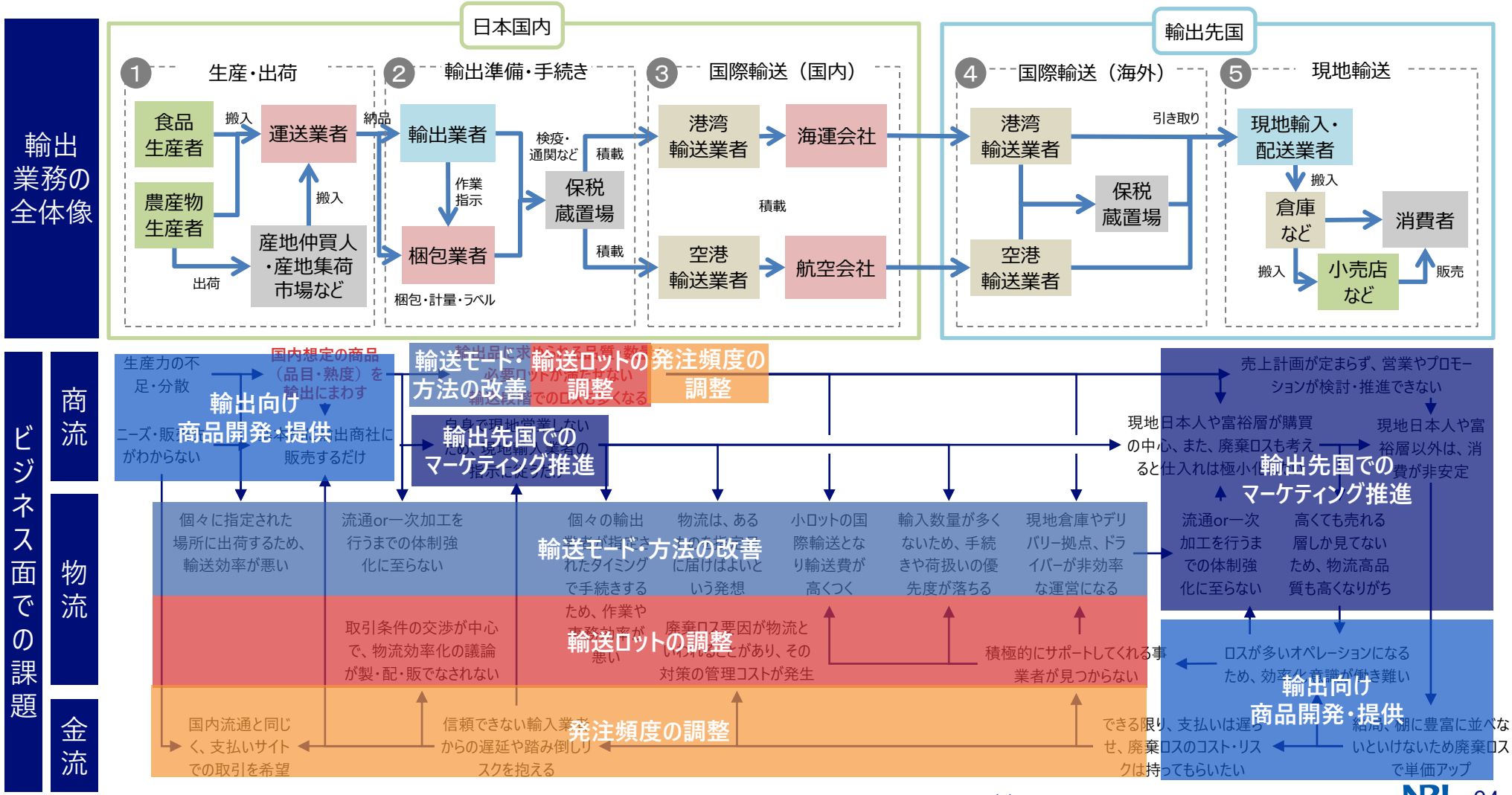
ビジネス面での課題



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

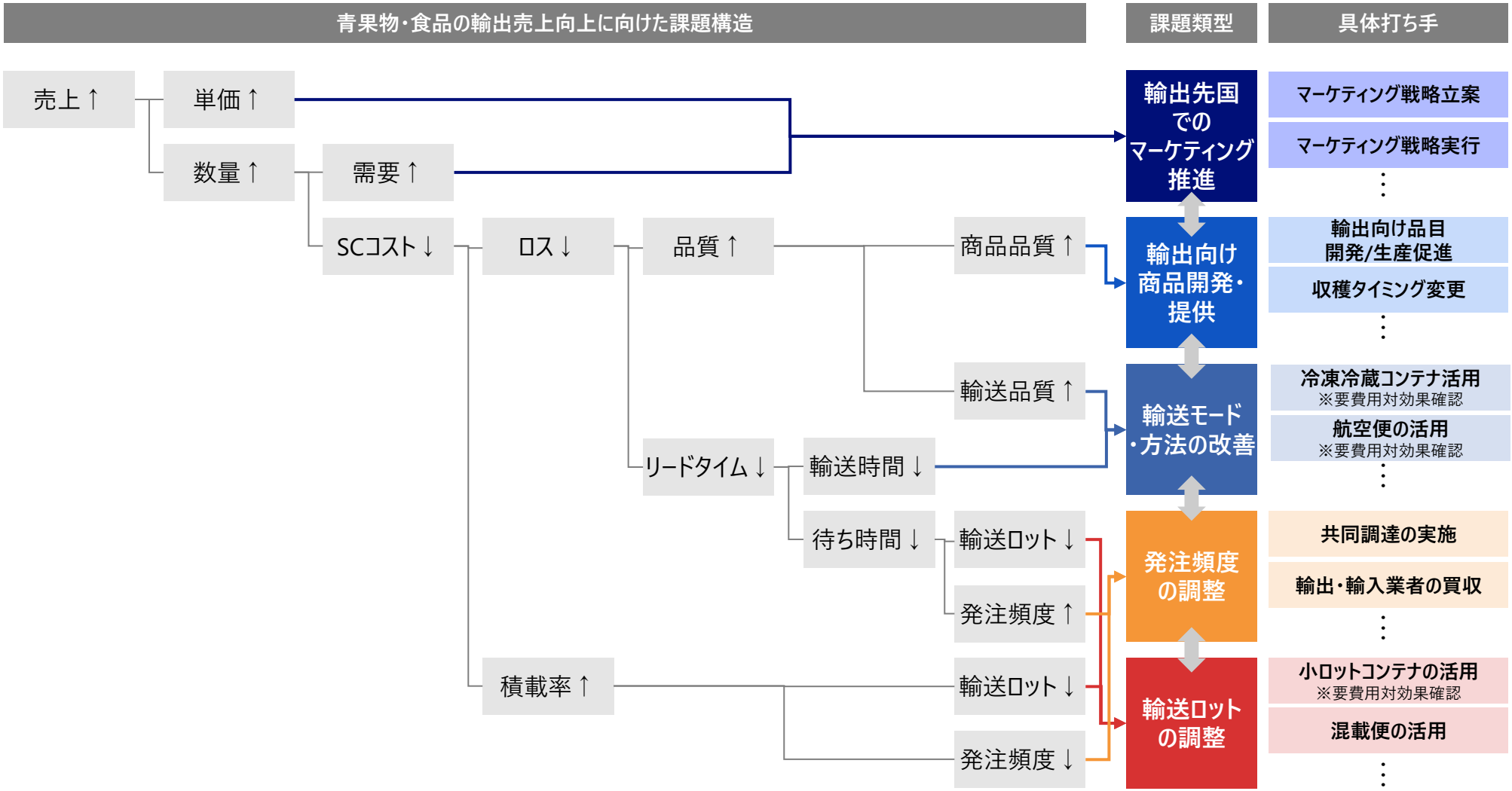
聞き取り調査を踏まえ、青果物・食品の輸出サプライチェーン上の課題として、現地マーケティング・輸出商品・輸送モード・発注頻度・輸送ロットという相互に関連しあう5つの要素を整理

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

参考）青果物・食品の輸出売上向上に向けた課題と課題類型・具体打ち手の関係性

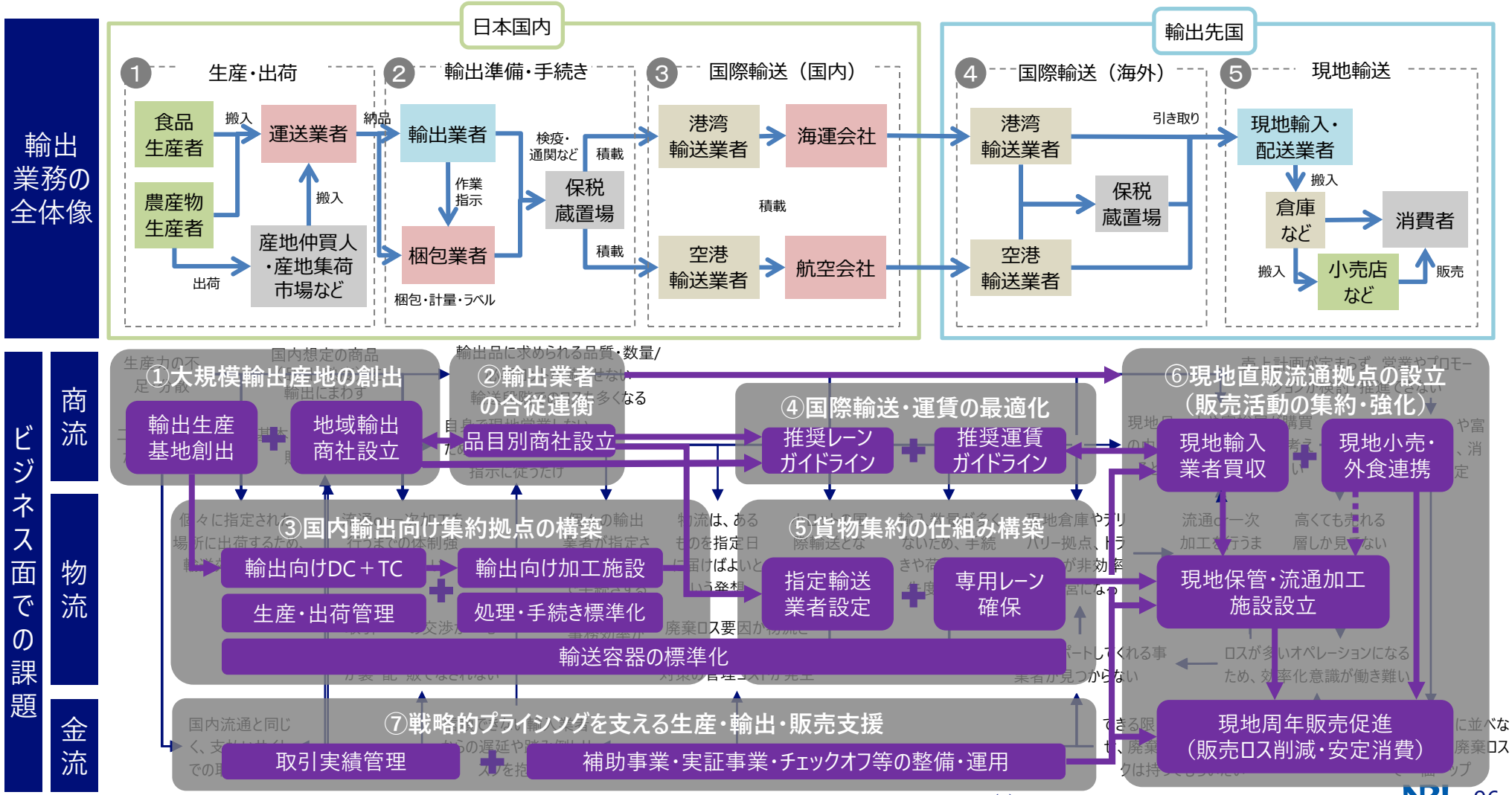


Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task5. 取りまとめ

課題に対応し、想定される打ち手についても生声を収集。輸出先国におけるマーケティング戦略の策定や戦略に基づいた輸出サプライチェーン構築を期待する声が一部得られた。

■ 食品輸出に必要な3つの流（物流・商流・金流）は、それぞれ単独では解決できず、その関係性も意識する必要がある



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task5. 取りまとめ

課題に対応する打ち手に関し、輸出向け産品の生産・提供に対するコメントが得られた

大項目	中項目	調査項目		聞き取り調査で得られたコメント
		費用関連	効果関連	
①大規模輸出産地の創出	輸出生産基地創出	• 生産基地用地費用（協力者確保含む） • 生産関連設備（農機・資材等）の購入・維持管理費 • 生産人件費 • 基地運営人材の確保費用	• 大規模生産の実現（生産数量拡大） • 生産の効率化 • 数量・価格競争力の向上	• *品種の選定から栽培・収穫に至るまで、日本市場向けに行われており、その一部が輸出に回されているのが現状である：輸出入業者A社* • *現状国内向けに収穫された商品を輸出しているため、どうしても輸出に係る時間を考慮すると鮮度が落ちてしまう。輸出用に生産されたものはあると良い。また品目・品種についても現地で売れるものが生産されると良い：小売業者C社*
②輸出業者の合従連衡	地域輸出商社設立 品目別商社設立	• オフィス費用 • 営業、事務手続き人件費 • 産地からの産品調達コスト • 事業推進人材の確保費用	• 顧客ニーズ・サプライチェーンの明確化 • 交渉力（セリングパワー）の強化 • 顧客ニーズに基づいた生産の実施 • サプライチェーン・実輸送の合理化（効率化）・コスト削減	• *品目・商品の熟度等を含め、輸出専用のサプライチェーンを構築した方が良い：輸出入業者A社* • *青果物を取り扱っている業者は調達力は強いものの、現地に販売先をあまり持っていないのが現状：輸出入業者B社*
③国内輸出向け集約拠点の構築	輸出向けDC＋TC	• 施設用地の確保、施設建設コスト • 関連設備（倉庫・パッキングライン等）の導入・維持管理費 • 荷役、人件費 • 施設運営人材の確保費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減	• –
	輸出向け加工施設		• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上	• –
	生産・出荷管理	• 梱包資材費 • 荷役、人件費 • 輸送、保管費用 • 生産・出荷管理システム（プラットフォーム）の導入・維持管理 • 管理組織・人材の確保費用	• サプライチェーンの可視化 • サプライチェーン・実輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上 • 梱包資材費削減	• –
④貨物集約の仕組み構築	処理・手続き標準化 輸送容器の標準化	• 事務手続きコスト • 輸送容器費用 • 標準化に向けた協議・調整、普及のための広報費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸送容器費削減	• *輸送効率を上げるために青果の箱を標準化してはどうか：輸出入業者B社*
	指定輸送業者設定 専用レーン確保	• 輸送手配コスト • 事務手続きコスト • 物流費 • 保険費 • ガイドライン策定に向けた協議・調整、普及のための広報費用	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸送費削減	• –
⑤国際輸送・運賃の最適化	推奨レーンガイドライン 推奨運賃ガイドライン			

Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task5. 取りまとめ

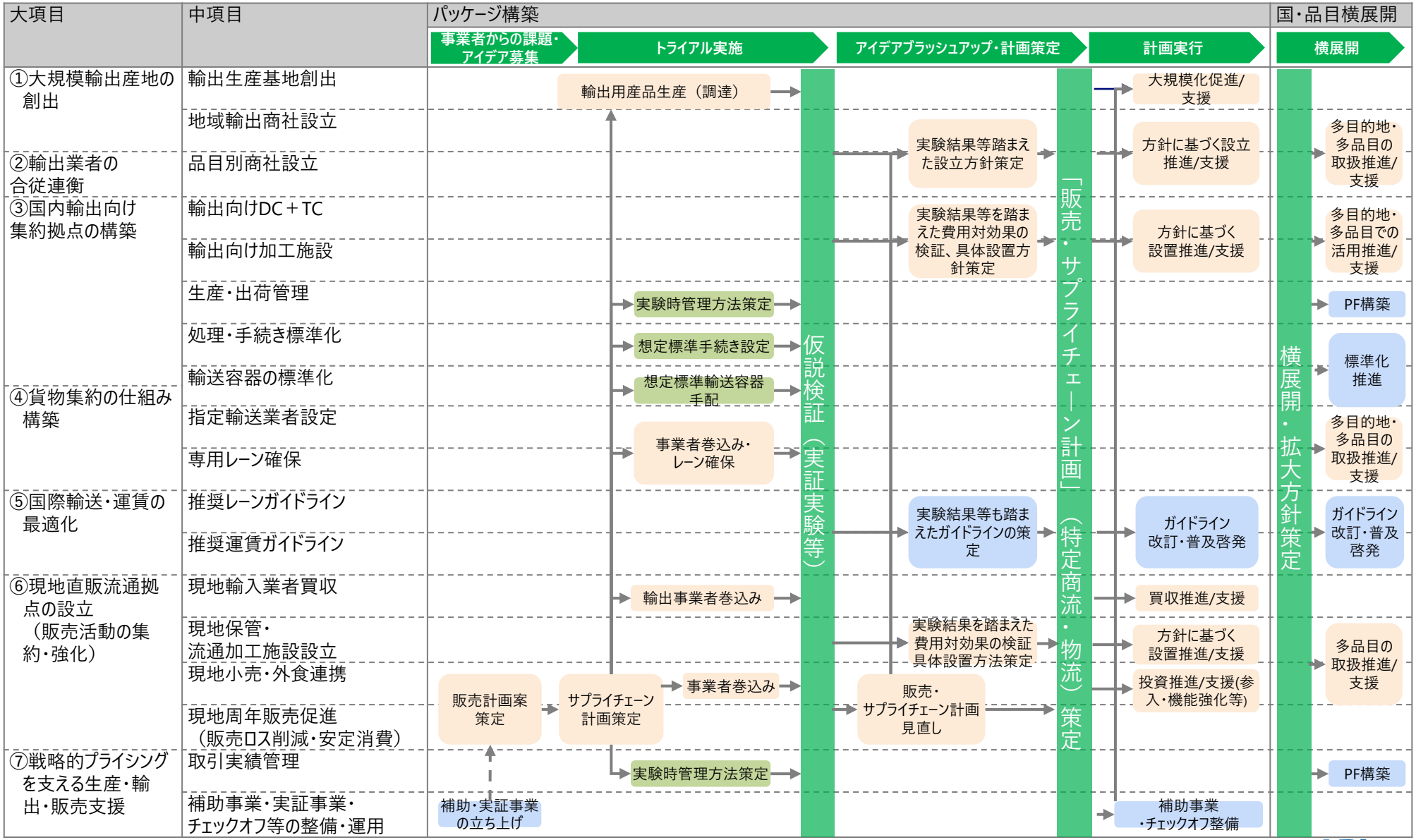
また、輸出先国におけるマーケティング戦略へのニーズも確認できた

大項目	中項目	調査項目		聞き取り調査で得られたコメント
		費用関連	効果関連	
⑥現地直販流通拠点の設立（販売活動の集約・強化）	現地輸入業者買収	• 事務手続きコスト • 物流費 • 買収活動費（戦略策定、ロング・ショートリスト作成、買収交渉、買収費、PMI）	• サプライチェーンの合理化（効率化） • プロモーション費削減 • 流通額・量の増加	• *青果物を取り扱っている業者は調達力は強いものの、現地に販売先をあまり持っていないのが現状：J輸出入業者B社* • *ハイエンド以外の顧客が購入できる価格帯にしていかなければならない。そのためには流通量を増やす必要がある。商流として日系の事業者だけでなく、アジア系（中華系・韓国系）も視野に入れるべき。現地系はその後である：小売業者D社*
	現地小売・外食連携	• 棚台、プロモーション費用 • 店舗管理費 • 人件費 • マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 需要・流通ロットの拡大 • プロモーション費削減	• *青果物は国によって味や好みが異なるものもあるため、現地消費者に合うようなフルーツを探していきたい、国・品目別のマーケティング戦略・レポートがあると良い：小売業者C社*
	現地保管・流通加工施設設立	• 施設用地費用 • 関連設備（倉庫・パッキングライン等）の導入・維持管理費 • 流通加工費、人件費 • 施設運営人材の確保	• 輸送の合理化（効率化）・コスト削減 • 輸出品の付加価値（売価）向上	• –
	現地周年販売促進（販売ロス削減・安定消費）	• マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 需要・流通ロットの拡大	• *アメリカの場合は国土も広く年中同じ品種が販売されている。日本産品として旬を推していくのかどうか意思決定が必要。その上で通年供給させるのであれば周年販売体制の構築が必要：小売業者D社* • *消費者は絶えず新しいものに飢えていると認識しており、好奇心をくすぐる対象として、季節的な商品を販売していくことは必要だと感じる：小売業者C社*
⑦戦略的プライシングを支える生産・輸出・販売支援	取引実績管理	• 取引実績管理システム（プラットフォーム）の導入・維持管理 • 管理組織・人材の確保 • マーケティング戦略の策定、プランニング費	• 取引実績の可視化 • マーケティングの高度化、流通額・量の増加 • 取引リスクの低減	• –
	補助事業・実証事業・チェックオフ等の整備・運用	• 事業・制度構築検討費 • 事業・制度運用組織の設立・運用（事務手続き等）費用 • 運営人材の確保費用	• 流通額・量の増加	• –

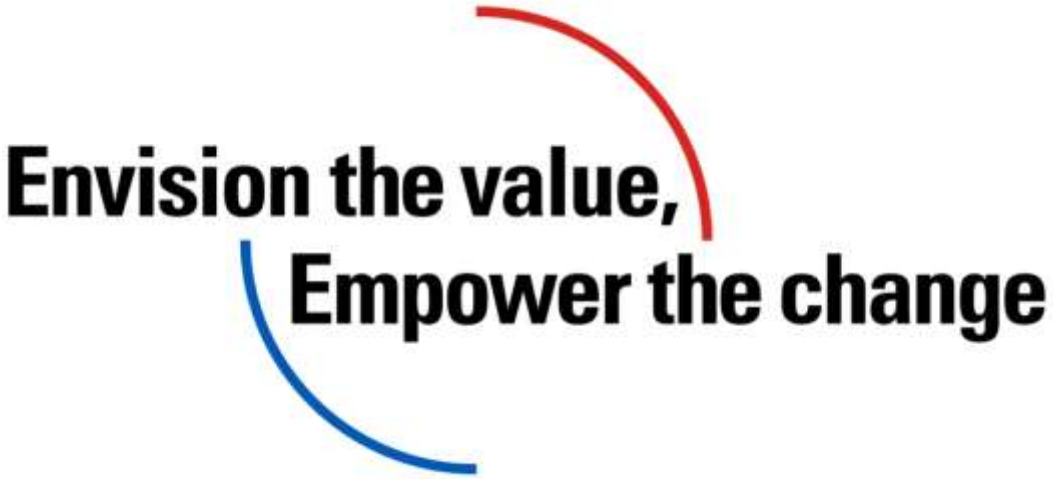
Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.

Task5. 取りまとめ

商流・物流上の課題構造と事業者ニーズ等を踏まえ、打ち手の優先順位・内容を検討



Copyright (C) Nomura Research Institute, Ltd. All rights reserved.


Envision the value,
Empower the change